学校法人東洋大学

組織図（2020年4月1日現在）

- 監事 Auditors
- 理事会 Board of Trustees
- 評議員会 Council

- 東洋大学 Toyo University
  - 学部 Faculties
  - 大学院 Graduate Schools
  - 学術研究推進センター Center for Academic Research Promotion
  - 研究所 Research Institutes
  - 国際教育センター Center for Global Education and Exchange
  - 社会貢献センター Center for Social Contribution
  - 井上円了記念博物館 Inoue Enryo Memorial Museum
  - 教職センター Education Career Center
  - 高等教育推進センター Center for Promotion of Higher Education
  - IR室 Office of Institutional Research
  - 附属図書館 Library
- 東洋大学附属姫路中学校・高等学校 Toyo University Himeji Junior and Senior High School
- 東洋大学附属牛久中学校・高等学校 Toyo University Ushiku Junior and Senior High School
- 東洋大学京北中学高等学校 Toyo University Keihoku Junior and Senior High School
- 京北幼稚園 Keihoku Kindergarten
- 産官学連携推進センター Industry-Government-Academia Partnership Center
- 内部監査室 Office for Internal Control
- 事務局 Administrative Office

学部 Faculties

文学部 Faculty of Letters
哲学科／東洋思想文化学科★／日本文学文化学科★／英米文学科／史学科／教育学科★／国際文化コミュニケーション学科

経済学部 Faculty of Economics
経済学科★／国際経済学科／総合政策学科

経営学部 Faculty of Business Administration
経営学科★／マーケティング学科／会計ファイナンス学科

法学部 Faculty of Law
法律学科★／企業法学科

社会学部 Faculty of Sociology
社会学科★／社会文化システム学科／社会福祉学科★／メディアコミュニケーション学科／社会心理学科

国際学部 Faculty of Global and Regional Studies
グローバル・イノベーション学科／国際地域学科★

国際観光学部 Faculty of International Tourism Management
国際観光学科

情報連携学部 Faculty of Information Networking for Innovation and Design
情報連携学科

ライフデザイン学部 Faculty of Human Life Design
生活支援学科／健康スポーツ学科／人間環境デザイン学科

理工学部 Faculty of Science and Engineering
機械工学科／生体医工学科／電気電子情報工学科／応用化学科／都市環境デザイン学科／建築学科

総合情報学部 Faculty of Information Sciences and Arts
総合情報学科

生命科学部 Faculty of Life Sciences
生命科学科／応用生物科学科

食環境科学部 Faculty of Food and Nutritional Sciences
食環境科学科／健康栄養学科

大学院 Graduate Schools

文学研究科 Graduate School of Letters
哲学専攻／インド哲学仏教学専攻／日本文学文化専攻／中国哲学専攻／英文学専攻／史学専攻／教育学専攻／国際文化コミュニケーション専攻

社会学研究科 Graduate School of Sociology
社会学専攻／社会心理学専攻／福祉社会システム専攻★■

法学研究科 Graduate School of Law
私法学専攻／公法学専攻

経営学研究科 Graduate School of Business Administration
経営学・マーケティング専攻／ビジネス・会計ファイナンス専攻★

理工学研究科 Graduate School of Science and Engineering
生体医工学専攻／応用化学専攻／機能システム専攻／電気電子情報専攻／都市環境デザイン専攻■／建築学専攻■／建築・都市デザイン専攻■

経済学研究科 Graduate School of Economics
経済学専攻／公民連携専攻★■

国際学研究科 Graduate School of Global and Regional Studies
グローバル・イノベーション学専攻■／国際地域学専攻

国際観光学研究科 Graduate School of International Tourism Management
国際観光学専攻

社会福祉学研究科 Graduate School of Social Welfare
社会福祉学専攻

生命科学研究科 Graduate School of Life Sciences
生命科学専攻

ライフデザイン学研究科 Graduate School of Human Life Design
生活支援学専攻■／健康スポーツ学専攻■／ヒューマンライフ学専攻■／人間環境デザイン専攻

学際・融合科学研究科 Graduate School of Interdisciplinary New Science
バイオ・ナノサイエンス融合専攻

総合情報学研究科 Graduate School of Information Sciences and Arts
総合情報学専攻

食環境科学研究科 Graduate School of Food and Nutritional Sciences
食環境科学専攻

情報連携学研究科 Graduate School of Information Networking for Innovation and Design
情報連携学専攻

■…修士・博士前期課程のみ設置
■…博士後期課程のみ設置
印なし…博士前期・博士後期課程

研究所 Research Institutes

人間科学総合研究所／現代社会総合研究所／東洋学研究所／アジア文化研究所／地域活性化研究所／工業技術研究所／ライフイノベーション研究所／バイオ・ナノエレクトロニクス研究センター／アジアPPP研究所／井上円了研究センター／グローバル・イノベーション学研究センター／情報連携学学術実業連携機構

大学院·学部併設センター Research Institutes and Centers affiliated with Graduate Schools and Faculties

国際哲学研究センター／生体医工学研究センター／ PPP研究センター／国際共生社会研究センター／福祉社会開発研究センター／計算力学研究センター／産学協同教育センター

★印は学部の場合は第2部・イブニングコースを設置していること、大学院の場合は主として夜間に授業を行う課程を示す

2020年7月発行／学校法人東洋大学　編集／総務部広報課

U N I V E R S I T Y

東洋大学はいま 2020

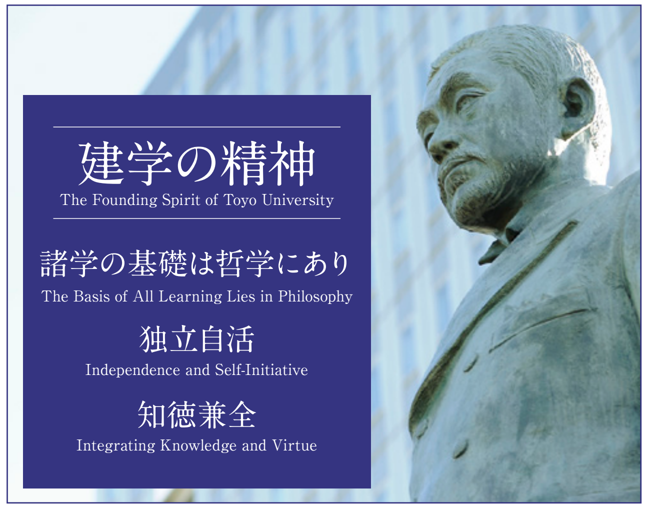
https://www.toyo.ac.jp/toyo2020/

東洋大学はいま2020

東洋大学

東洋大学ダイジェスト Toyo University digest

Webでもご覧いただけます
You can also view this data on our website.



建学の精神
The Founding Spirit of Toyo University

諸学の基礎は哲学にあり
The Basis of All Learning Lies in Philosophy

独立自活
Independence and Self-Initiative

知徳兼全
Integrating Knowledge and Virtue

学部学科数(2020年度)
Number of Faculties and Departments

13学部 46学科
13 Faculties and 46 Departments

新制大学に移行した1949年の文学部設置以来、東洋大学は総合大学として13学部46学科を擁するまでに発展し、全ての学部で4年間一貫の同キャンパス教育体制を実現。また、大学院は現在、15研究科37専攻から成り立っています。

外部評価 External Evaluation

12年連続 AA
12 Years in a Row

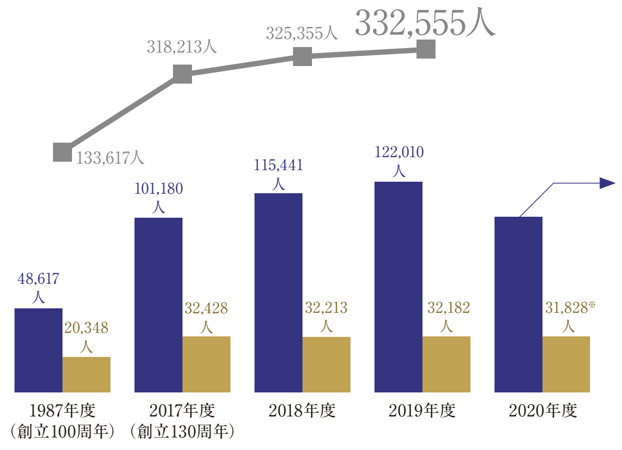
東洋大学は、2020年1月に株式会社日本格付研究所(JCR)より、12年連続で長期発行体格付の「AA」(ダブルAフラット)、21段階の上から3 番目の格付を取得。格付の見通しは「安定的」とされました。格付事由は、「強い学生獲得力を維持していること」「良好な財務構成」などが挙げられています。

第2部·イブニングコース入学定員(2020年度)
Evening Course (Night School) Admission Capacity

760人
Students

意欲ある学生が一人でも多く学べるように、学費を抑えた第2部・イブニングコースを6学部9学科に設置。夜間学部の定員は日本の大学で最大規模であり、全私立大学夜間部学生の約25%が東洋大学に通っています。

卒業生数·志願者数·学生数の推移
Number of Alumni, Applicants and Students



志願者数(2020年度センター利用入試·一般入試·総合問題入試·実技入試／学部第1·2部合計)
Number of Applicants

101,776人
Students

私立大学 全国8位
The 8th Largest Private University in Japan

■卒業・修了生数(累計)
■志願者数(センター利用入試・一般入試・総合問題入試・実技入試／学部第1・2部)
■学生数(学部第1・2部、大学院、通信教育課程)

2020年度センター利用入試·一般入試·総合問題入試·実技入試志願者数は101,776人で、これは国内607校の私立大学で8番目の規模です(2020年度入試の結果はP.14に掲載)。
また、これまでの卒業・修了生は33万人を超え、それぞれ社会の第一線で活躍しています。
※2020年5月1日現在の暫定数であり、変更になる場合があります。

海外との協定数
(2020年3月31日現在)
Overseas Agreements

大学間 Inter-university Agreement

37カ国·地域 Countries　214協定 Agreements

部局間等 Inter-departmental Agreement

34カ国·地域 Countries　91協定 Agreements

東洋大学は199大学・5コンソーシアム・6機関・3都市と大学レベルの協定を結んでいます。
※詳しい情報はP.17に掲載

就職率(2020年3月卒業生)
Employment Rate

98.2%

学内企業セミナー参加社数(2019年度)
Number of Companies Participating in On-Campus Company Information Sessions

927社
Companies

朝日新聞出版「大学ランキング 2021」では、就職率 第10位(卒業生2,000人以上、2019年3月卒業生実績)。2020年3月卒業生(学部第1部)の就職率は98.2%と高い水準を維持しています。

THE世界大学ランキング日本版2020
Times Higher Education Japan University Rankings 2020

首都圏大規模大学
教育充実度※ 2位
Engagement Ranked 2nd

首都圏大規模大学
国際性※ 6位
Environment Ranked 6th

「THE 世界大学ランキング日本版 2020」において、私立の首都圏大規模大学における教育充実度で2位(全体14位)、国際性で6位(全体31位)、総合ランキングで10位(全体64位)となりました。また、SDGsへの貢献を評価する「THE インパクトランキング2020」では、日本の私立大学で6位(国内20位、世界401-600位)となりました。

※私立大学、首都圏大規模大学[大学定員数 5,000人以上]

海外留学·研修派遣者総数(5年間)
(2015年4月1日～2020年3月31日実績)
Total Number of Students Dispatched for Overseas Study and Training

9,655人
Students

文部科学省「スーパーグローバル大学創成支援」事業に採択。学生の海外経験を促す多彩なプログラムによりグローバルリーダーを育成しています。

給付型
大学独自の奨学金支給総額(2019年度)
Total Amount of Our Proprietary Grant-type Scholarship Paid

11億1,754万円
1,117.54 Million Yen

東洋大学奨学金および東洋大学独立自活支援奨学金での給付総額。

給付型
海外留学を支援する奨学金支給総額
(2019年度)
Total Amount of Scholarship Paid for Study Abroad Support

2億608万5,864円
206,085,864 Yen

東洋大学海外留学促進奨学金として563人、東洋大学交換・認定・協定校語学留学奨学金として347人へ給付しました。

創立者「井上円了」とは

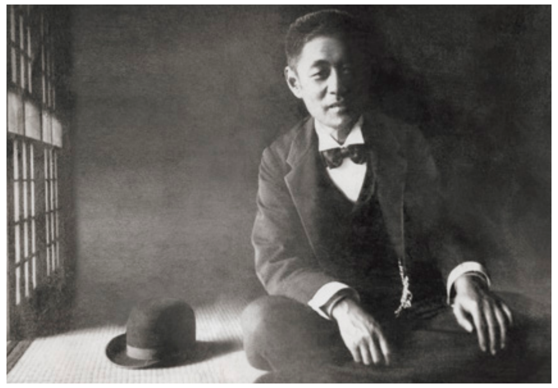
Introducing Toyo University Founder Enryo Inoue

哲学教育を礎とし 世界に通用する人材を育てる

Nurturing World-class Talent Based on Philosophy Education

東洋大学は1887(明治20)年、哲学者 井上円了が創立した「私立哲学館」により、その歴史が始まりました。時代が江戸から明治へと移り、近代化が進み始めた日本において、円了は「哲学は新しい時代を生きる日本人にとって思考の根本になる」と考え、「哲学すること」の重要性を示しました。それは、いわゆる哲学者を養成することではなく、哲学を学ぶことにより、人々が主体的に生きることの重要さを説くものでした。

Toyo University's history began in 1887, when philosopher Enryo Inoue founded a private school called the *Shiritsu Tetsugakukan*. Enryo Inoue believed that "for Japanese people living in the new Meiji era, philosophy will be the foundation of all thought." Rather than focusing on training professional philosophers, he emphasized the importance of "practice of philosophy," namely the value of ordinary people living upon their own thoughts and initiative through learning philosophy.



井上 円了(1858年～1919年)

1858(安政5)年、慈光寺(新潟県長岡市)の長男として生誕。10歳で明治維新を経験し、漢学・洋学を学ぶ。20歳で設立直後の東京大学第1期生として予備門へ入学、23歳で文学部哲学科ただ一人の新入生となる。「哲学」という西洋の古代から近代まで発達してきた学問の本質を学びながら研究を重ね、「諸学の基礎は哲学にあり」と確信。そして、幼少期より身近にあった「仏教」を見直し、東洋哲学を発見した。大学を首席で卒業した2年後の1887(明治20)年、東洋大学の前身となる「私立哲学館」を創立。

「哲学の研究・普及が文明を発展させるために不可欠」と考え、著作と学校教育・社会教育による哲学の普及に身を捧げ、「東洋の日本」から「世界の日本」を志し、海外を視察するなど、明治時代の日本で新しい教育の扉を開くことに尽力した。1919(大正8)年、中国大連での講演中に倒れ、61歳で逝去。

創立者 井上円了没後100周年記念事業

Programs for Marking the 100th Year Since the Passing of Founder Enryo Inoue

創立者 井上円了の没後100周年を迎えた2019年度。年間を通してさまざまな記念事業を実施しました。

AY2019 was the 100th year since the passing of founder Enryo Inoue. Various memorial programs were held throughout the year.

5月	井上円了没後100周年記念特設サイトを開設
6月	没後100周年記念講演会「長岡が育んだ哲学者・妖怪博士　井上円了」
9月	国際井上円了学会第8回学術大会「学際的に見る哲学堂公園」 井上円了研究センター主催国際シンポジウム「国際的視野から見た円了哲学」
10月	円了Day　講演会「今につながる円了哲学」 講談「井上円了の愛した妖怪学 ～講談と怪談について～ 」神田山緑氏／聲明講演 書籍『井上円了「哲学する心」の軌跡とこれから』発刊(講談社)
11月	【大学祭】井上円了没後100周年記念 学長講演「井上円了の活動主義に思う」 【ホームカミングデー】学長講演「井上円了の活動主義について～没後100周年に思うこと～」 「井上円了が志したものとは」入賞者表彰式
12月	『井上円了没後100周年記念図録 CATALOG 井上円了』刊行
1月	井上円了没後100周年記念 企画展「東洋大学創立者・井上円了の書～The Best Selections」
通年	公開講座「井上円了没後100周年記念講座」(5講座・全11回)

旅する哲学者

生涯において「実際に見て、聞いて、学ぶ」ことを重視していた井上円了は、海外渡航が難しかった時代に3度の長期世界視察を敢行しました。世界で得た知見を大学教育の理念とし、さらに後の全国巡講により民衆が多様な価値観を学ぶ機会を設けました。この思想は21世紀の東洋大学においても「グローバル人財の育成」という基本方針に継承されています。

また、晩年の円了は「田学」と称し、日本全国を回る壮大な講演旅行「全国巡講」を実施。海外視察で学んだ「言論の自由」「人格の尊重」などの社会教育や生涯学習の広範な普及を目指しました。27年間にわたるこの旅は、現在の市町村の約60%に及んでいます。合計5,291回※の講演活動を行った円了は、中央と地方の間で今以上に大きな格差のあった明治時代において、社会教育のパイオニアだったといえます。

※15冊の「南船北馬集」に記録が残されている1906(明治39)年から1918(大正7)年までの13年間の講演回数。

教育の門戸を広げる志

井上円了が私立哲学館を創立した際の趣意書には「余資なく優暇なき者に教育機会の場を開放する」とあり、哲学館の授業料を低く抑えることで一人でも多くの人に門戸を開こうとしたほか、講義をまとめたテキストを送り自宅で学習できる「館外員制度」(現代の通信教育にあたる制度)もいち早く取り入れました。教育の機会を万人に開放するというその大いなる志は、現在の東洋大学における「第2部・イブニングコース」などへと受け継がれています。

哲学者にして妖怪博士

井上円了は、哲学者であると同時に「妖怪研究」の第一人者として知られています。その狙いは、大衆を根拠のない迷信から解放し、自ら考える姿勢を身に付ける『哲学の第一歩』を示すためで、日本人の心を近代化しようという壮大な取り組みの一環でした。

東洋大学 沿革

1887年	井上円了が本郷区龍岡町の麟祥院内に私立哲学館(東洋大学の前身)を創立する
1897年	小石川区原町に新校舎落成(現・白山キャンパス)
1899年	私立京北尋常中学校※を開設 ※現・東洋大学京北中学高等学校
1905年	京北幼稚園を開設
1906年	私立東洋大学と改称
1916年	日本の私立大学で初めて女子の入学を許可
1920年	「私立」の冠称が廃止され、東洋大学へ改称
1949年	新制大学に移行、文学部を設置
1952年	大学院を設置
1961年	川越キャンパス(埼玉県)を開設
1963年	東洋大学附属姫路高等学校(兵庫県)を開設
1964年	東洋大学附属牛久高等学校(茨城県)を開設
1977年	朝霞キャンパス(埼玉県)を開設
1997年	板倉キャンパス(群馬県)を開設
2005年	朝霞キャンパス(文・経済・経営・法・社会学部)の1・2年次を白山キャンパスに統合し、4年間一貫教育開始
2006年	大手町サテライト(東京都)を開設
2011年	総合スポーツセンター(東京都)完成 学校法人京北学園と法人合併し、京北中学校・高等学校、京北学園白山高等学校、京北幼稚園を併設校とする
2012年	創立125周年を迎える 125周年記念館(8号館)にて記念式典を挙行
2014年	東洋大学附属姫路中学校(兵庫県)開設 文部科学省「スーパーグローバル大学創成支援(タイプB)」採択
2015年	京北中学校・高等学校が東洋大学京北中学高等学校に校名変更し、男女共学の東洋大学附属校として東京都文京区白山に移転 東洋大学附属牛久中学校(茨城県)を開設
2017年	赤羽台キャンパス(東京都)を開設

理事長・学長あいさつ

Message from Chairman & President

理事長・学長の特別対談が
Webでご覧いただけます
Please visit our website.

学校法人東洋大学　理事長

安齋 隆

Takashi Anzai

Chairman,
Toyo University Incorporated Educational Institution

1941年生まれ。東北大学法学部卒業。日本銀行、(株)日本長期信用銀行(現・(株)新生銀行)頭取、(株)アイワイバンク銀行(現・(株)セブン銀行)社長などを経て、2009年12月学校法人東洋大学理事に就任し、2018年12月から現職。

新型コロナウイルス感染症がWHO（世界保健機関）によりパンデミック宣言されたのは2020年3月11日のことです。その後に予定されていた卒業式も入学式も中止となりました。いま世界中がこの新型コロナウイルスの感染拡大と対峙しており、この見えない敵への「恐怖と不安」と闘っています。この危機は、地震や台風などの災害とは違い、他所からは誰も助けに来てはくれません。一人ひとりの感染しない、感染させないという努力なくして、この「恐怖と不安」から逃れることはできないのです。

学生と教員の皆さんは、オンライン授業にもどかしさや不満を感じる場面もあることと思います。しかし、これは世界に共通した選択であり受容してほしいと思います。そうした中で本学は、特別就学支援金を支給することとしました。また、家計急変によって困窮している学生への特別奨学資金創設も決めました。これはひとえに先人たちが築いてくれた健全経営の賜物であり、苦難に直面した学生たちに学業を続けさせたいという教職員の強い心情が実現させたものです。

この闘いは、他者との接触削減の努力によって、日本における緊急事態宣言はようやく解除されましたが、終息宣言のためには有効なワクチン等の開発が待たれます。世界の英知が知見、治験を共有、協力することが緊要です。人類は地球という「ノアの方舟」に乗っています。全人類はこのパンデミックと闘う運命共同体なのです。沈没しかけている「タイタニック号」に乗っているかのような、脱出の先陣争いは許されません。

ぜひ、世界地図の中で考えることを勧めます。それは本学創立者である井上円了博士の志につながるものであると考えています。

The World Health Organization (WHO) declared a pandemic over the infectious disease caused by the novel coronavirus on March 11, 2020. Following this declaration, we cancelled our graduation and entrance ceremonies. The new disease is spreading across the world and we are fighting this invisible enemy in a state of fear and anxiety. Unlike disasters such as earthquakes and typhoons, we cannot expect someone from another region to come and save us from this crisis. Nobody can escape from the fear and anxiety caused by the disease. It is up to individuals to take care to avoid infection and to avoid infecting others so as to put an end to the pandemic.

Our students and faculty members may feel frustrated and dissatisfied with online classes. However, this is a common option around the world, and I hope you will come to terms with it. In view of the circumstances, the university decided to provide a special learning grant. We also decided to create a special scholarship fund for students who are in need of financial support due to a sudden change in their family finances. We can do this thanks to the sound management structure that our predecessors have built up for the university and to the support provided by our faculty members, who very much want students facing such hardships caused by the virus to continue their studies.

As a result of the efforts made by people to reduce their contacts with others across Japan, the state of emergency declared in the country has finally been lifted. However, the pandemic will not end unless effective vaccines and other medicines are developed. It is essential that we gather wisdom and share knowledge as well as the results of clinical tests on a global scale to put an end to the crisis. All the people of Earth are on a Noah's Ark and have a shared fate in fighting this pandemic. We are not on a sinking Titanic and cannot just save ourselves.

In the face of this crisis, I strongly advise you to think globally, which I believe has much to do with the aspirations of Dr. Enryo Inoue, the founder of this university.

東洋大学　学長

矢口 悦子

Etsuko Yaguchi

President, Toyo University

1956年生まれ。お茶の水女子大学大学院人間文化研究科(博士課程)単位取得退学。博士(人文科学)。専門分野は社会教育学・生涯学習論。山脇学園短期大学教授などを経て、2003年4月から東洋大学文学部教授。文学部長などを歴任し、2020年4月から現職。

2020年度は新型コロナウイルス感染症の拡大により世界中の大学が、これまでにない困難を経験しています。日本有数の学生数を誇る総合大学へと発展した東洋大学も、この難局を乗り越えるために、学生、教職員、保護者、関係者が一丸となって努力を重ねています。

本学は、2019年度までに、グローバル化、キャリア教育、哲学教育を柱として急成長を遂げ、学生や留学生から「選ばれる大学」としての地位を確立し、今後は国際水準の研究の展開と教育における質保証への取り組みを重点的に強化しようとしています。さらに、SDGsに示されているような地球的課題解決に向けた実践的な貢献へと歩みを進めることを目指し、2021年度にはライフデザイン学部を赤羽台キャンパスに移転し、2023年度からは福祉社会デザイン学部※と健康スポーツ科学部※という二つの学部を開設する予定でおります。福祉系・健康系の学部ができることで、既設の情報連携学部とともに、日本そして世界が抱える課題に挑戦する拠点が誕生します。

さて、ポストコロナの世界ではグローバル化の姿も変容せざるを得ません。直接的な交流が制限される中、ICTを駆使した交流による相互理解から始まり、世界的な課題に挑戦する協働プロジェクトの一員として活躍することが国際化の実質となる兆しがあります。グローバル化の価値が人間を救済する方向で要請される時が来たといえましょう。そして、産業構造の変化が発生し、既存の枠組みを超えた柔軟なキャリア展望が求められますが、そこには、厳しさとともに新たな挑戦の可能性も開かれているのです。

本学の目指そうとしている方向は、こうした状況において一層その価値を増していると認識しております。「諸学の基礎は哲学にあり」という建学の理念を堅持し、現象の本質を見極め、他者のために自己を磨き奮闘する「東洋大学の心」を忘れずに、あらゆる智の結集と連携により、多様性を認め豊かに支え合う社会の創造に、東洋大学は貢献し続けます。

※2020年6月現在設置構想中。仮称であり、計画内容は変更となる可能性があります。

In AY2020, universities around the world are facing unprecedented difficulties due to the spread of a new coronavirus infection. At Toyo University, which has grown into a university with one of the largest student bodies in Japan, all stakeholders, including students, faculty members, and students' parents and other supporters, are making a concerted effort to overcome the hardship.

By AY2019, the University had achieved rapid growth with a focus on globalization, career education, and philosophy education, and established itself as a "university of choice" for students and international students. We are now focusing on promoting world-class research activities and on strengthening the measures to ensure the quality of our education. Furthermore, with an eye to making practical contributions to the solution of global issues such as those described in the SDGs, we will relocate the Faculty of Human Life Design to the Akabanedai Campus in AY2021. We also plan to open two faculties: the Faculty of Design for Welfare Society* and the Faculty of Health and Sports Science*. By adding these welfare and health-related faculties to the existing Faculty of Information Networking for Innovation and Design, we will establish a new base to meet the challenges faced by Japan and the world.

In the post-corona world, the form of globalization will inevitably change. Because in-person interactions are now restricted, exchanges based on the use of ICT will be promoted for mutual understanding, and working as a member of a project to meet a global challenge is becoming an essential form of internationalization. We are now required to foster globalization in a way that helps solve the issues faced by humanity. As the industrial structure changes, more flexible career development will be needed, which will be difficult but will also bring us opportunities to take on new challenges.

Under these circumstances, I believe Toyo University is heading in the right direction to increase its value to society. The university's founder believed that "The Basis of All Learning Lies in Philosophy." Keeping this in mind, as the "Heart of Toyo University," we will seek to gain insight into the true nature of things and will stay true to the principle of "Improving oneself for the benefit of others." Toyo University will continue to contribute to the creation of a society in which diversity is acknowledged and people support each other in a spiritually rich manner.

*These faculties are planned to be opened as of June 2020. The names are provisional, and the plan may change.

地球社会の明るい未来への貢献を目指す

中期計画を策定

詳細はWebでご覧いただけます
Please visit our website.

学校法人東洋大学は、2024年度までの5年間の活動の指針となる中期計画「TOYO GRAND DESIGN 2020-2024」を策定。この中期計画に基づくキャンパスの整備や学部学科の再編を計画しています。

Aiming to contribute to a bright future for the global community

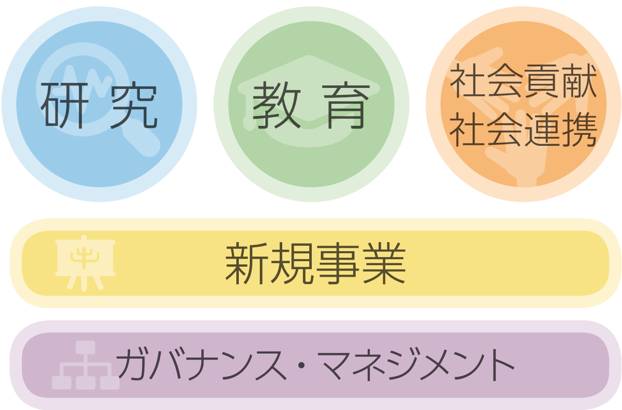
Formulation of a Medium-Term Plan

Toyo University Incorporated Educational Institution formulated the medium-term plan, "TOYO GRAND DESIGN 2020-2024," to provide guidelines for its activities for the five years to AY2024. Based on this plan, the university will make improvements on its campuses and restructure its faculties and departments.

中期計画「TOYO GRAND DESIGN 2020-2024」

創立者・井上円了の理念"他者のために自己を磨く"に基づき「地球社会の明るい未来を拓く」を目標とする「TOYO GRAND DESIGN 2020-2024」では、「研究」「教育」「社会貢献・社会連携」と、それらを実現するための「新規事業」「ガバナンス・マネジメント」の5つの領域で今後の方針を策定しました。

各領域の目的を、研究は「新しい価値を創造し明るい未来を描く」、教育は「明るい未来を担う人材を育てる」、社会貢献・社会連携は「より多くの人に明るい未来を」と設定。それぞれが円了の理念である"主体的に社会の課題に取り組む""自分の哲学を持つ""活動の中で奮闘する"を踏まえたものです。これらを実現する「新規事業」「ガバナンス・マネジメント」によって、明るい未来の実現に貢献していくことを目指します。



赤羽台キャンパスの整備計画

2021年竣工の新校舎（B地区）

ライフデザイン学部等の移転に合わせ、建築家の隈研吾氏の設計による地下1階・地上9階建ての新校舎が竣工します。Webサイトではこの新校舎を隈研吾氏のインタビューを交えた映像で紹介しています。

2022年竣工の国際学生寮（D地区）

2022年4月に、D地区に国際学生寮が完成予定です。300人程度を受け入れ可能で、その内半数が外国人留学生となる予定です。

2023年竣工の新校舎（C地区）

C地区には、2023年4月に新校舎・図書館・体育館が完成予定です。こちらも隈研吾氏の設計で、キャンパス全体に一体感を演出。B地区とはガラス張りのブリッジでつながります。また、体育館は躍動感を演出し、サステナビリティに配慮した「木屋根架構」を採用しています。

2021年竣工の新校舎完成予想図
パース図提供：東洋大学赤羽台キャンパス設計監理共同企業体（隈研吾建築都市設計事務所・日本設計・戸田建設）

赤羽台キャンパス新校舎等建設予定地

2021年度～2024年度までの学部・学科の再編について

2021年4月

ライフデザイン学部等を移転

朝霞キャンパスから赤羽台キャンパスへ移転

- ライフデザイン学部（入学定員：556名）
- ライフデザイン学研究科（同：修士・博士前期課程30名　博士後期課程9名）

社会学部 国際社会学科を開設※1

社会・文化・地域に関する専門知識に基づいて、多文化共生と多様性の推進・活用（ダイバーシティ・マネジメント）を実践的に担うことのできる「地球市民（グローバル・シティズン）」を育成します。

- 社会学部 国際社会学科（入学定員：150名）

2023年4月

赤羽台キャンパスに新たな2学部5学科の開設を構想

ソフト、ハードの両面から「福祉」「スポーツ科学」と向き合う一大拠点として、少子高齢化や健康問題といった社会課題の解決に努めていきます。

- 福祉社会デザイン学部　社会福祉学科（仮称・入学定員：216名）※3
  子ども支援学科（仮称・入学定員：100名）※3
  人間環境デザイン学科（仮称・入学定員：160名）※3
- 健康スポーツ科学部　健康スポーツ科学科（仮称・入学定員：230名）※4
  先端栄養科学科（仮称・入学定員：100名）※4

2024年4月

生命科学部・食環境科学部等を移転

キャンパスが分散している生命分野に関する学部・学科の統合や連携強化等を目的にキャンパスの再編を計画しています。

板倉キャンパスから朝霞キャンパスへ移転

- 生命科学部　生命科学科（入学定員 113名）
  応用生物科学科（同 113名）
- 食環境科学部　食環境科学科 フードサイエンス専攻（同 70名）
  健康栄養学科（同 100名）
- 生命科学研究科（同 博士前期課程 20名 博士後期課程 4名）
- 食環境科学研究科（同 博士前期課程 10名 博士後期課程 2名）

川越キャンパスから朝霞キャンパスへ移転

- 理工学部 生体医工学科（同 113名）
- 理工学研究科 生体医工学専攻（同 博士前期課程 18名 博士後期課程 3名）

板倉キャンパスから赤羽台キャンパスへ移転

- 食環境科学部 食環境科学科 スポーツ・食品機能専攻（同 50名）

また、同年に生命科学部 生物資源学科／生体医工学科（いずれも仮称・入学定員113名※5）、食環境科学部フードデータサイエンス学科（仮称・入学定員113名※6）の開設を構想しています。

	2020年4月入学生	2021年4月入学生	2023年4月入学生	2024年4月入学生
白山キャンパス	文学部 経済学部 経営学部 法学部 社会学部 社会学科 社会文化システム学科 社会福祉学科 メディアコミュニケーション学科 社会心理学科 イブニングコース 社会学科 イブニングコース 社会福祉学科※2 国際学部 国際観光学部	文学部 経済学部 経営学部 法学部 社会学部 社会学科 国際社会学科※1 社会福祉学科 メディアコミュニケーション学科 社会心理学科 イブニングコース 社会学科 国際学部 国際観光学部	文学部 経済学部 経営学部 法学部 社会学部 社会学科 国際社会学科※1 メディアコミュニケーション学科 社会心理学科 イブニングコース 社会学科 国際学部 国際観光学部	文学部 経済学部 経営学部 法学部 社会学部 社会学科 国際社会学科※1 メディアコミュニケーション学科 社会心理学科 イブニングコース 社会学科 国際学部 国際観光学部
赤羽台キャンパス	情報連携学部	情報連携学部 ライフデザイン学部〈移転〉 生活支援学科 生活支援学専攻 生活支援学科 子ども支援学専攻 健康スポーツ学科 人間環境デザイン学科	情報連携学部 福祉社会デザイン学部※3 社会福祉学科※3 子ども支援学科※3 人間環境デザイン学科※3 健康スポーツ科学部※4 健康スポーツ科学科※4 先端栄養科学科※4	情報連携学部 福祉社会デザイン学部※3 社会福祉学科※3 子ども支援学科※3 人間環境デザイン学科※3 健康スポーツ科学部※4 健康スポーツ科学科※4 先端栄養科学科※4
朝霞キャンパス	ライフデザイン学部 生活支援学科 生活支援学専攻 生活支援学科 子ども支援学専攻 健康スポーツ学科 人間環境デザイン学科			生命科学部〈移転〉 生命科学科 生物資源学科※5 生体医工学科※5 食環境科学部〈移転〉 食環境科学科 フードデータサイエンス学科※6 健康栄養学科
川越キャンパス	理工学部 機械工学科 生体医工学科 電気電子情報工学科 応用化学科 都市環境デザイン学科 建築学科 総合情報学部	理工学部 機械工学科 生体医工学科 電気電子情報工学科 応用化学科 都市環境デザイン学科 建築学科 総合情報学部	理工学部 機械工学科 生体医工学科 電気電子情報工学科 応用化学科 都市環境デザイン学科 建築学科 総合情報学部	理工学部 機械工学科 電気電子情報工学科 応用化学科 都市環境デザイン学科 建築学科 総合情報学部
板倉キャンパス	生命科学部 生命科学科 応用生物科学科 食環境科学部 食環境科学科 フードサイエンス専攻 食環境科学科 スポーツ・食品機能専攻 健康栄養学科	生命科学部 生命科学科 応用生物科学科 食環境科学部 食環境科学科 フードサイエンス専攻 食環境科学科 スポーツ・食品機能専攻 健康栄養学科	生命科学部 生命科学科 応用生物科学科 食環境科学部 食環境科学科 フードサイエンス専攻 健康栄養学科	

※1 開設にともない社会学部 社会文化システム学科は2021年度に募集を停止します。
※2 社会学部 第2部社会福祉学科（イブニングコース）は2021年度に募集を停止します。
※3 2020年6月現在設置構想中。学部・学科名称は仮称であり、計画内容は変更となる可能性があります。開設にともない社会学部 社会福祉学科/ライフデザイン学部 生活支援学科 生活支援学専攻、子ども支援学専攻/ライフデザイン学部 人間環境デザイン学科は2023年度に募集を停止します。
※4 2020年6月現在設置構想中。学部・学科名称は仮称であり、計画内容は変更となる可能性があります。開設にともないライフデザイン学部 健康スポーツ学科/食環境科学部 食環境科学科 スポーツ・食品機能専攻は2023年度に募集を停止します。
※5 2020年6月現在設置構想中。学部・学科名称は仮称であり、計画内容は変更となる可能性があります。開設にともない理工学部 生体医工学科/生命科学部 応用生物科学科は2024年度に募集を停止します。
※6 2020年6月現在設置構想中。学部・学科名称は仮称であり、計画内容は変更となる可能性があります。

教育 Education

自己の哲学を磨き、物事の本質を理解する人材の育成

グローバル化の進展によって多様な価値観が混在し、急速に変化していく現代社会。時代や環境の変化に流されることなく物事の本質を捉え、未来を切り拓く力を持った人材を育成します。

Developing Human Resources Who Can Cultivate Their Own Philosophy and Understand the Essence of Things

Progress in globalization has diversified our contemporary society in terms of values, and put it in rapid flux. Toyo University will foster human resources who have the ability to grasp the essence of things and open up a brighter future, rather than those who are passively affected by social trends and situational changes.

詳細はWebでご覧いただけます
For further details,
please visit our website.

理工学部・総合情報学部が開設10周年 川越キャンパスを世界に誇れる学術拠点に

産学協同を理念に掲げ1961年に川越キャンパスへ設置された工学部は、2009年に現在の理工学部と総合情報学部に再編。2019年度に開設10周年を迎えました。工学部から受け継がれた地域連携の重視に加え、地球規模の課題解決や国境を越えた協働を見据えて国際連携を強化し、川越キャンパスを自然豊かで世界に誇れる優れた人材育成の拠点として充実させていきます。

Faculties of Science and Engineering, and Information Sciences and Arts Celebrate Their 10th Anniversary, Aiming to Raise the Kawagoe Campus to a World-class Academic Hub

The Faculty of Engineering, established at the Kawagoe Campus in 1961 with the aim of promoting industry–academia partnerships, was reorganized into the current Faculties of Science and Engineering, and Information Sciences and Arts in 2009. Marking the 10th anniversary of their establishment in AY2019, the two faculties will devote further energy toward fostering international collaboration in solving global issues beyond national borders, in addition to regional collaboration in the tradition of the Faculty of Engineering, and upgrade the Kawagoe Campus to a world-class talent development hub in a rich natural environment.

経済同友会とインターンシップ協定を締結 会員企業にて学生が就業体験

東洋大学は経済同友会の会員企業でのインターンシップを主催する「一般社団法人経済同友会インターンシップ推進協会」と2019年度に協定を締結。学内選考を経た学部2年生を対象に、約4週間のインターンシップを実施しています。2019年11月に行われた成果報告会では11名の学生たちが普段の学生生活だけでは得がたい経験や成長を発表しました。

Concluding an Internship Agreement with *Keizai Doyukai* to Enable Students to Gain Work Experience at Keizai Doyukai Member Companies

In AY2019, Toyo University concluded an agreement with the Advanced Internship Institute of Doyukai, which, under the umbrella of *Keizai Doyukai* (Japan Association of Corporate Executives), arranges internships at Keizai Doyukai member companies. The agreement has enabled second-year Toyo University students selected through in-house screening to intern at Keizai Doyukai member companies for about four weeks. At an achievement report meeting held in November 2019, eleven students presented their experiences through participating in the internships that their ordinary campus lives alone could not have offered, in addition to describing the self-development they had achieved as a direct result of such experience.

ニュースや新聞を活用した教育を推進 時事教育で学生の思考する力を高める

2019年7月、東洋大学は特定非営利活動法人日本ニュース時事能力検定協会より、2018年度の時事教育推進校として認定・表彰されました。朝日新聞と読売新聞の協力による「新聞活用プロジェクト」を実施する社会学部メディアコミュニケーション学科など多くの学科での時事教育への取り組み、ニュース検定の継続的受検、高い合格率が評価されました。

Promoting Education on Current Issues Using News and Newspapers to Enable Students to Boost Their Own Thinking Ability

In July 2019, Toyo University was approved and commended as an AY2018 news education promotion school by the Society for Testing News Proficiency. The University was highly rated for its efforts to provide education on current issues in many departments, including the Department of Media and Communications, Faculty of Sociology, which implements the newspaper utilization project in cooperation with the *Asahi Shimbun* and *Yomiuri Shimbun* newspapers; and for continuously encouraging students to take the News Proficiency Test; in addition to boasting a high pass rate among Toyo University examinees.

ブルガリア共和国大統領ルメン ラデフ閣下による特別講演会にて名誉博士号を授与

2019年10月、ブルガリア共和国のルメン ラデフ大統領を白山キャンパスにお招きし、特別講演会を開催。約300名の学生が聴講しました。講演後には竹村牧男学長(当時)より東洋大学名誉博士号を授与しました。2020年2月には竹村学長がブルガリア共和国の大統領府を訪問し、大統領賞を授与されました。

H. E. Rumen Radev, President of the Republic of Bulgaria, Delivers Special Lecture and Receives Honorary Doctorate

In October 2019, Toyo University invited H. E. Rumen Radev, President of the Republic of Bulgaria to give a special lecture at the Hakusan Campus. About 300 students attended the lecture. Afterward, Toyo University President Makio Takemura awarded an honorary doctorate to President Radev. Then, in February 2020, Toyo University President Takemura in turn paid a visit to the Executive Office of the President of Bulgaria, where he received the President Award from President Radev.

オープンアプローチによるバリアフリーマップ構築に関する研究プロジェクト

情報連携学部(INIAD)では、移動に制約を受ける人々を対象として、IoT技術とオープンデータを活用した移動支援プロジェクトに取り組んでいます。国土交通省と連携し、行政だけでなく、ボランティアや利用者自身が参加し、データの作成やメンテナンスを行う「オープンモビリティガイド・プラットフォーム」を構築し、INIADでは1学年400名全員が毎年参画しています。

Research Project on the Creation of Accessibility Maps through an Open Approach

The Faculty of Information Networking for Innovation and Design (INIAD) has been implementing a project to facilitate the movement of people with restricted mobility using IoT technology and open data. In collaboration with the Ministry of Land, Infrastructure, Transport, and Tourism, INIAD built an Open Mobility Guide Platform, where not only government officials but also volunteers and users themselves participate in data creation and maintenance. All 400 INIAD students in the same year of study participate in this project every year.

スポーツによる人材育成を推進 世界を舞台に活躍する学生アスリート達

東洋大学では「スポーツを『哲学』し、人と社会と世界をむすぶ」を理念とした「TOYO SPORTS VISION」を掲げ、スポーツを通じた人材育成を推進しています。2019年度は在学生2名、卒業生2名が東京五輪・パラ大会代表に内定。7月のユニバーシアード競技大会では本学選手が金5個、銀4個、銅1個のメダルを獲得。10月のプロ野球ドラフト会議では佐藤都志也選手が千葉ロッテマリーンズから2位指名を受けました。

Promoting Capability Development through Sports, and Producing World-class Student Athletes

Pursuing the TOYO SPORTS VISION with the key principle of “Exploring sports from a philosophical perspective to unite people, society and the world,” Toyo University promotes capability development through sports. In AY2019, two current students and two alumni unofficially qualified to represent Japan in the Olympic and Paralympic Games in Tokyo. In the Universiade in July, Toyo University athletes won five gold medals, four silver medals, and one bronze medal. In the professional baseball draft in October, catcher Toshiya Sato was drafted by the Chiba Lotte Marines in the second round.

第三者機関の専門的評価を獲得する 東洋大学の国際化戦略

東洋大学は文部科学省「スーパーグローバル大学創成支援」採択校として留学の派遣・受入をはじめとする国際化に取り組んでおり、その成果は第三者機関による高評価を獲得しています。2019年度には国際大学協会(IAU)による「ISAS2.0ラーニングバッジ」を取得、国内においても「日本留学AWARDS」で二度目の部門大賞を受賞しています。

Toyo University’s International Strategies Highly Rated by Third-party Expert Organizations

As one of the universities selected for the Top Global University Project of the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology, Toyo University has pursued its internationalization strategies, including sending and accepting students internationally. The University’s achievements in this field have been highly rated by third-party organizations. In AY2019, the University received an Internationalization Strategies Advisory Service (ISAS) 2.0 learning badge from the International Association of Universities (IAU). In domestic terms as well, the University won its second division award in the Nihon-Ryugaku Awards.

附属校での特色ある教育を展開 多彩な学問分野を擁する大学と連携

学校法人東洋大学は、大学のほかに3つの附属中学校・高等学校と幼稚園を設置しており、各設置校では多彩な学問分野を擁する東洋大学と連携した教育活動を展開しています。東洋大学京北中学高等学校では2019年度より生命科学部・食環境科学部と連携した講座「未来の科学者育成プロジェクト」を開講しました。

Schools Attached to Toyo University in Mutual Collaboration Providing Unique Education, with Experts in a Wide Variety of Disciplines

The Toyo University Incorporated Educational Institution runs three junior and senior high schools as well as one kindergarten, in addition to the University. These schools conduct educational activities in collaboration with Toyo University, where experts in a wide variety of academic disciplines work. In AY2019, Toyo University Keihoku Junior and Senior High School launched a Future Scientist Project to offer students science classes in collaboration with the Faculty of Life Sciences and the Faculty of Food and Nutritional Sciences at Toyo University.

研究 Research

文理にわたる多様な研究を推進し、さまざまな社会の課題解決に寄与

「学術・研究」機能を継続的に発展させ、各分野の基礎研究から、産学官連携による応用研究まで幅広く推進。有用な研究成果を社会へ還元していきます。

Promoting Diverse Research Endeavors in the Humanities and Sciences to Contribute to Solutions for Various Social Issues

Toyo University continuously enhances its academic research functions, and promotes research endeavors widely ranging from basic research in each field to applied research through collaboration between industry, government and academia. The University is ready to impart useful research achievements to society.

詳細はWebでご覧いただけます
For further details, please visit our website.

社会課題を評価する有用な指標を開発・公表「女性活躍」「グローバル・イノベーション」

東洋大学では、社会課題を評価する2つの指標を独自に開発・公開しています。「女性活躍インデックス」は企業や団体における女性活躍の状況を客観的に評価。業種別・企業別のランキングを公表しました。「東洋大学グローバル・イノベーション学研究センターイノベーション・インデックス」は各国のイノベーションの進展度を総合的に評価するもので、国別のランキングとその分析を公表しました。

Develop and publish useful indicators to assess social challenges "Women's Advancement" and "Global Innovation"

Toyo University has independently developed and published two indicators to evaluate social issues. The Women's Advancement Index objectively evaluates the status of women's activities at companies and organizations. Industry and company rankings are now available. Toyo University's Center for Global Innovation Studies Index, which comprehensively assesses the progress of innovation in each country, has released a country-by-country ranking and analysis of the index.

国際社会の目指すSDGsに研究成果である「知」で貢献

東洋大学では国際社会の目指す持続可能な開発目標SDGsへの研究成果による貢献を推進しています。SDGsに関連する研究として「開発途上国における生活環境改善による人間の安全保障の実現」をテーマとした研究を大学独自の研究助成制度「重点研究推進プログラム」に採択。また、シンポジウムなどにより研究成果の発信にも積極的に取り組んでいます。

Using Knowledge as the Fruit of Research to Contribute to the International Community's Efforts to Achieve the SDGs

Toyo University strives to use research results to contribute to the international community's efforts to achieve the Sustainable Development Goals (SDGs). The University has selected SDG-related research on "Achievement of human security through improvements in the living environment in developing countries" for the Focal Research Promotion Program, which is designed as the University's original research grant program. The University also devotes positive efforts toward sharing research results with the general public by holding symposia and through other means.

東京五輪に学術的な貢献を情報発信も積極的に展開

研究成果から東京五輪・パラ大会へ貢献することを目的とした「東洋大学オリンピック・パラリンピック特別プロジェクト研究助成制度」を創設し、研究活動を展開しています。また、各分野の研究者が五輪開催に関連した社会課題を解説する報道向けニュースレターを発行、一般にも公開するなど情報発信にも積極的に取り組んでいます。

Striving to Make an Academic Contribution to the Olympic and Paralympic Games in Tokyo While Actively Disseminating Related Information to Society

Toyo University has been promoting research activities by establishing a Toyo University Special Research Project Grant Program for the Olympic and Paralympic Games, with the aim of contributing to the Games in Tokyo through research achievements. In addition, the University also publishes a newsletter for the press to enable researchers in various fields to explain social issues related to Games operations. This newsletter is also open to the public as the University's tool for actively disseminating academic information concerning the Olympic and Paralympic Games.

各分野の研究成果を社会に還元 有用性が評価され、受賞や製品化も

東洋大学は、大学の使命である研究の成果を広く社会に発信、還元することに注力しています。2019年度においては、骨盤バランスを整えるクッションの開発・製品化、ワイヤレスセンサーのグッドデザイン賞受賞、2019年日本建築学会作品選奨を受賞した小学校の校舎設計など、本学の研究活動の有用性が多方面で評価されました。

Award-Winning or Commercialized Research Results in Various Fields Highly Valued for Their Usefulness to Society

With a firm belief in the importance of research as the university's mission, Toyo University has devoted energy toward raising public awareness of the results of research at the University and applying them to society. In AY2019, the University produced highly valued useful research results in many fields, such as developing and commercializing a cushion that can improve pelvic balance, receiving the Good Design Award for a wireless sensor, and designing buildings for an elementary school, which won the Architectural Institute of Japan (AIJ) Annual Architectural Design Commendation 2019.

社会連携 Social Cooperation

教育・研究機関として社会と連携し、開かれた大学へ

創立者の精神を継承した「社会に開かれた大学」として、教育・研究の知、学生の力、高度な施設などを活用し、「社会貢献」と「地域連携」を推進しています。

Collaborating with Stakeholders as an Educational and Research Institution to Become a University Open to Society

As a "university open to society" that cherishes the spirit of its founder, Toyo University promotes social contribution and collaboration with local communities, taking advantage of its strengths, including increased knowledge through educational and research activities, the power of its students, and its state-of-the-art facilities.

詳細はWebでご覧いただけます
For further details, please visit our website.

学生による社会貢献と地域活性化を推進 新たな助成・表彰制度の設立

学生の社会貢献活動支援として活動助成制度を設立し、初年度は5団体に助成。また、学生の社会貢献表彰制度は、該当者の学部長推薦を不要とし、学生が申請しやすくするなど制度を一部改め、個人2名を表彰。また、2016年度にスタートした教員と学生が共同で行う地域活性化活動支援事業では、18企画が各地で活動を行いました。

Promoting Student-led Social Contribution and Regional Revitalization by Establishing New Grant and Commendation Systems

Toyo University established a new grant system to support students' social contribution activities. In the system's first year, five groups of students received the activity grants. In addition, the University improved its social contribution commendation system by removing the dean's recommendation from the application requirements, thus allowing students to apply to use the system more easily. Two students were commended this fiscal year. Moreover, in the regional revitalization activity support program, launched in AY2016 as a platform for joint activities between instructors and students, 18 activity projects were implemented in various areas.

シンポジウムや各種体験会を開催 スポーツを通じた教育・社会貢献の実践

東洋大学では『TOYO SPORTS VISION』を掲げ、スポーツを通じた教育・研究・社会貢献活動を実践しています。その事業の一環として「ユニファイドスポーツ」「スポーツを哲学する」などのシンポジウム、各種体験会などを各キャンパスで開催し、多くの来場者にスポーツの魅力と社会的意義を伝えました。

Holding Symposiums and various hands-on experience events to Contribute to Education and Society through Sports

Pursuing the TOYO SPORTS VISION, Toyo University strives to contribute to education, research and society through sports. As a part of such efforts, the University held symposiums on themes such as "Unified Sports®" and "Philosophize about Sports," as well as various hands-on experience events on campus, sharing the charm and social significance that sports offer with many visitors.

全国自治体と協定を締結し 地方へのUIJターン就職をサポート

地方へのUIJターン就職を希望する学生に対して、自治体ごとの相談窓口の紹介や各種情報提供、地方就職専門の相談員を招いての相談会、インターンシップガイダンスなどを実施。全国18の自治体と協定を締結し、各地の企業への学生インターンシップの派遣や、各自治体の担当者を招いた個別相談会などを行っています。

Supporting Students' Career Development in Provincial Areas by Concluding Agreements with Local Governments Nationwide

Toyo University supports students who wish to find jobs in provincial areas (returning to their hometown, leaving their hometown in a metropolitan area for a provincial area, or moving to a provincial area other than their provincial hometown), for example, by introducing to students local governments' departments in charge of consultation, offering various information, organizing consultation sessions with outside consultants specializing in career development in provincial areas, and holding internship guidance sessions. The University concluded partnership agreements with 18 local governments around Japan, where students were sent to intern at local companies and attend individualized consultation sessions with invited local government staff.

大学の持つ「知」を社会へ還元 創立者の精神を受け継ぐ社会教育活動

創立者の精神を受け継いだ社会教育・生涯学習支援への取り組みとして、広く学びの場を提供しています。公開講座は、没後100周年記念講座として井上円了についてや、源氏物語や万葉集、キャリアデザインなどをテーマに約50講座を開講。全国各地への講師派遣事業では、生涯学習や研修支援など計95講義に講師を派遣。東洋大学の擁する幅広い学問系統と深い専門性を講義として届けています。

Social Education Activities that Embody the Toyo University Founder's Spirit of Imparting the Knowledge Accumulated by the University to Society

Toyo University provides the general public with a wide range of opportunities for learning as its initiative to support social education and lifelong learning, handing down the spirit of its founder, Enryo Inoue. The University offered around 50 extension courses, including one on the founder designed to commemorate the centenary of his death, as well as such courses on the *Tale of Genji*, the *Man'yoshu*, and career design. The University also sent instructors around Japan to give a total of 95 lectures on lifelong learning, corporate staff training, and for other purposes. These extension courses and lectures have helped to hand down the deep specialized knowledge that the University has accumulated so far in a wide range of disciplines.

基礎データ Basic Data

掲載データは本書発行時期における最新の集計結果を掲載しております。
発行後に更新される情報は本学Webサイトでご確認ください。

在籍学生数（2020年5月1日現在暫定数）

学部（第1部）

学部	男性	女性	合計
文学部	1,580	2,019	3,599
経済学部	1,884	786	2,670
経営学部	1,853	1,035	2,888
法学部	1,424	756	2,180
社会学部	1,307	1,907	3,214
国際地域学部※1	48	47	95
国際学部	591	936	1,527
国際観光学部	403	1,072	1,475
情報連携学部	1,213	336	1,549
ライフデザイン学部	982	1,323	2,305
理工学部	2,804	570	3,374
総合情報学部	850	266	1,116
生命科学部	579	300	879
食環境科学部	342	524	866
合計	15,860	11,877	27,737

※1 2017年4月、国際地域学部を国際学部および国際観光学部に改組

学部（第2部）

学部	男性	女性	合計
文学部	308	216	524
経済学部	527	110	637
経営学部	313	138	451
法学部	405	103	508
社会学部	451	284	735
合計	2,004	851	2,855

通信教育課程

学部	男性	女性	合計
文学部	69	200	269
法学部	76	32	108
合計	145	232	377

大学院

研究科	男性	女性	合計
文学研究科	71	54	125
社会学研究科	24	40	64
法学研究科	14	10	24
経営学研究科	61	15	76
理工学研究科	128	28	156
工学研究科※2	1	0	1
経済学研究科	51	28	79
国際学研究科	20	16	36
国際観光学研究科	13	17	30
国際地域学研究科※3	7	3	10
社会福祉学研究科	15	22	37
生命科学研究科	35	15	50
ライフデザイン学研究科	24	20	44
福祉社会デザイン研究科※4	16	16	32
学際・融合科学研究科	15	8	23
総合情報学研究科	27	15	42
食環境科学研究科	10	12	22
情報連携学研究科	7	1	8
合計	539	320	859

※2 2014年4月、工学研究科を理工学研究科に改組
※3 2018年4月、国際地域学研究科を国際学研究科および国際観光学研究科に改組
※4 2018年4月、福祉社会デザイン研究科を社会福祉学研究科、ライフデザイン学研究科および社会学研究科福祉社会システム専攻に改組

附属学校等

学校名	男性	女性	合計
附属姫路高等学校	714	304	1,018
附属牛久高等学校	869	872	1,741
東洋大学京北高等学校	477	493	970
高等学校合計	2,060	1,669	3,729
附属姫路中学校	106	75	181
附属牛久中学校	80	107	187
東洋大学京北中学校	203	174	377
中学校合計	389	356	745
京北幼稚園	55	50	105

キャンパス別学生数（学部第1部・第2部、大学院）

キャンパス	男性	女性	合計
白山キャンパス	11,380	9,623	21,003
朝霞キャンパス	1,012	1,350	2,362
川越キャンパス	3,825	887	4,712
板倉キャンパス	966	851	1,817
赤羽台キャンパス	1,220	337	1,557
合計	18,403	13,048	31,451

専任教員数（2020年5月1日現在）

キャンパス	学部	教授	准教授	講師（契約制含む）	助教	小計	助手	合計
白山キャンパス	文学部	60	21	5	7	93	0	93
	経済学部	39	21	6	2	68	0	68
	経営学部	34	22	9	3	68	0	68
	法学部	40	13	5	3	61	0	61
	社会学部	49	16	8	7	80	0	80
	国際学部	25	11	5	2	43	0	43
	国際観光学部	17	9	8	0	34	0	34
	白山キャンパス合計	264	113	46	24	447	0	447

キャンパス	学部	教授	准教授	講師（契約制含む）	助教	小計	助手	合計
川越キャンパス	理工学部	55	28	1	5	89	0	89
	総合情報学部	19	5	2	2	28	0	28
	川越キャンパス合計	74	33	3	7	117	0	117

キャンパス	学部	教授	准教授	講師（契約制含む）	助教	小計	助手	合計
板倉キャンパス	生命科学部	22	4	3	2	31	0	31
	食環境科学部	15	10	2	2	29	5	34
	板倉キャンパス合計	37	14	5	4	60	5	65

キャンパス	学部	教授	准教授	講師（契約制含む）	助教	小計	助手	合計
朝霞キャンパス	ライフデザイン学部	33	21	4	11	69	3	72

キャンパス	学部	教授	准教授	講師（契約制含む）	助教	小計	助手	合計
赤羽台キャンパス	情報連携学部	21	12	4	13	50	0	50

	所属	教授	准教授	講師（契約制含む）	助教	教諭	小計	助手	合計
その他	大学院	7	3	0	0	0	10	0	10
	IR 室	1	0	0	0	0	1	0	1
	国際教育センター	0	3	11	1	0	15	0	15
	図書館事務部	0	0	0	0	1	1	0	1

附属学校等教員数

学校名	教諭	助教諭	講師	助手	合計
附属姫路中学校	11	0	1	0	12
附属姫路高等学校	69	0	0	0	69
附属牛久中学校	14	0	0	0	14
附属牛久高等学校	75	1	3	0	79

学校名	教諭	助教諭	講師	助手	合計
東洋大学京北中学校	21	0	3	0	24
東洋大学京北高等学校	49	0	4	0	53
京北幼稚園	8	0	0	0	8
合計	247	1	11	0	259

事務職員数（2020年5月1日現在）

大学

身分	職員数
参事	14
副参事	16
主事	55
主事補	68
書記	245
事務雇員	16
専任職員等小計	414
常勤嘱託	87
特別嘱託	14
嘱託小計	101
合計	515

附属学校等

学校名	参事	副参事	主事	主事補	書記	事務雇員	常勤嘱託	特別嘱託	職員合計
附属姫路中学校・高等学校事務室	0	0	0	0	4	0	6	0	10
附属牛久中学校・高等学校事務室	0	0	1	1	3	0	2	0	7
京北事務室	0	0	1	1	4	0	2	0	8
合計	0	0	2	2	11	0	10	0	25

入試データ（2020年度実績） Entrance Exam Data

センター利用入試・一般入試・総合問題入試・実技入試（第1部）

学部	学科（専攻）	志願者数	合格者数
文学部	哲学科	1,525	323
	東洋思想文化学科	1,457	401
	日本文学文化学科	2,305	451
	英米文学科	1,756	538
	史学科	2,668	668
	教育学科（人間発達専攻）	1,270	393
	教育学科（初等教育専攻）	895	167
	国際文化コミュニケーション学科	1,661	315
文学部 合計		13,537	3,256
経済学部	経済学科	5,113	1,363
	国際経済学科	2,459	577
	総合政策学科	3,639	869
経済学部 合計		11,211	2,809
経営学部	経営学科	6,884	1,407
	マーケティング学科	3,794	717
	会計ファイナンス学科	2,867	679
経営学部 合計		13,545	2,803
法学部	法律学科	4,120	1,120
	企業法学科	2,279	723
法学部 合計		6,399	1,843
社会学部	社会学科	3,581	866
	社会文化システム学科	2,789	794
	社会福祉学科	1,631	537
	メディアコミュニケーション学科	2,399	546
	社会心理学科	2,772	502
社会学部 合計		13,172	3,245
国際学部	グローバル・イノベーション学科	1,159	255
	国際地域学科（国際地域専攻）	2,874	821
国際学部 合計		4,033	1,076
国際観光学部	国際観光学科	4,884	917
国際観光学部 合計		4,884	917
情報連携学部	情報連携学科	4,854	1,391
情報連携学部 合計		4,854	1,391
ライフデザイン学部	生活支援学科（生活支援学専攻）	912	367
	生活支援学科（子ども支援学専攻）	941	316
	健康スポーツ学科	2,138	599
	人間環境デザイン学科	1,797	353
ライフデザイン学部 合計		5,788	1,635
理工学部	機械工学科	2,839	981
	生体医工学科	1,177	515
	電気電子情報工学科	2,293	649
	応用化学科	2,018	896
	都市環境デザイン学科	1,573	501
	建築学科	2,478	559
理工学部 合計		12,378	4,101
総合情報学部	総合情報学科	2,899	568
総合情報学部 合計		2,899	568
生命科学部	生命科学科	1,229	510
	応用生物科学科	1,066	585
生命科学部 合計		2,295	1,095
食環境科学部	食環境科学科（フードサイエンス専攻）	965	390
	食環境科学科（スポーツ・食品機能専攻）	435	162
	健康栄養学科	645	336
食環境科学部 合計		2,045	888
第 1 部 合計		97,040	25,627

センター利用入試・一般入試（第2部・イブニングコース）

学部	学科（専攻）	志願者数	合格者数
文学部	東洋思想文化学科	222	88
	日本文学文化学科	324	65
	教育学科	232	104
第 2 部 文学部 合計		778	257
経済学部	経済学科	959	248
第 2 部 経済学部 合計		959	248
経営学部	経営学科	813	220
第 2 部 経営学部 合計		813	220
法学部	法律学科	417	203
第 2 部 法学部 合計		417	203
社会学部	社会学科	823	208
	社会福祉学科	318	130
第 2 部 社会学部 合計		1,141	338
国際学部	国際地域学科（地域総合専攻）	628	155
国際学部（イブニングコース）合計		628	155
第2部・イブニングコース合計		4,736	1,421

推薦入試（AO型推薦／自己推薦／学校推薦／「独立自活」支援推薦）

	学部	学科（専攻）	志願者数	合格者数
第1部	文学部	哲学科	58	22
		東洋思想文化学科	6	6
		日本文学文化学科	34	12
		英米文学科	7	7
		教育学科（人間発達専攻）	11	10
		教育学科（初等教育専攻）	10	5
		国際文化コミュニケーション学科	30	5
	経済学部	経済学科	0	0
		国際経済学科	34	20
		総合政策学科	40	16
	法学部	法律学科	72	15
		企業法学科	67	15
	社会学部	社会学科	41	10
		社会福祉学科	39	22
	国際学部	グローバル・イノベーション学科	44	10
		国際地域学科（国際地域専攻）	57	21
	国際観光学部	国際観光学科	140	54
	情報連携学部	情報連携学科	90	28
	ライフデザイン学部	生活支援学科（生活支援学専攻）	42	28
		生活支援学科（子ども支援学専攻）	45	21
		健康スポーツ学科	62	11
		人間環境デザイン学科	37	22
	理工学部	機械工学科	2	2
		生体医工学科	6	3
		応用化学科	4	4
		都市環境デザイン学科	8	6
		建築学科	15	6
	総合情報学部	総合情報学科	41	21
	生命科学部	生命科学科	7	4
		応用生物科学科	16	13
	食環境科学部	食環境科学科（フードサイエンス専攻）	8	7
		食環境科学科（スポーツ・食品機能専攻）	9	6
		健康栄養学科	19	12
	第1部 合計		1,101	444
第2部・イブニングコース	文学部	東洋思想文化学科	5	3
		日本文学文化学科	29	15
		教育学科	15	11
	経済学部	経済学科	51	30
	経営学部	経営学科	20	15
	法学部	法律学科	76	41
	社会学部	社会学科	43	27
		社会福祉学科	10	8
	国際学部	国際地域学科（地域総合専攻）	30	10
	第2部・イブニングコース 合計		279	160
合計			1,380	604

大学院 博士前期・修士課程

研究科	志願者数		合格者数	
	秋入学	4月入学	秋入学	4月入学
文学研究科		61		36
社会学研究科	4	97	4	26
法学研究科		14		8
経営学研究科	0	121	0	43
理工学研究科	4	89	4	86
経済学研究科	4	74	4	33
国際学研究科	7	9	4	7
国際観光学研究科	6	23	3	12
社会福祉学研究科		30		12
生命科学研究科	1	25	1	22
ライフデザイン学研究科		32		20
学際・融合科学研究科	0	6	0	6
総合情報学研究科	1	15	1	15
食環境科学研究科	0	12	0	12
情報連携学研究科	0	8	0	5
合計	27	616	21	343

大学院 博士後期課程

研究科	志願者数		合格者数	
	秋入学	4月入学	秋入学	4月入学
文学研究科		6		5
社会学研究科		2		0
法学研究科		3		3
経営学研究科	0	0	0	0
理工学研究科	0	2	0	2
経済学研究科		4		2
国際学研究科	3	6	3	4
国際観光学研究科	1	4	1	4
社会福祉学研究科		7		7
生命科学研究科	0	1	0	1
ライフデザイン学研究科		5		5
学際・融合科学研究科	0	0	0	0
総合情報学研究科	0	4	0	4
食環境科学研究科	0	1	0	1
情報連携学研究科	0	1	0	1
合計	4	46	4	39

附属学校等

学校名	志願者数	合格者数
附属姫路中学校	200	113
附属姫路高等学校	3,519	3,510
附属牛久中学校	217	169
附属牛久高等学校	2,004	1,543
東洋大学京北中学校	2,006	243
東洋大学京北高等学校	909	614
京北幼稚園	56	40

就職データ(2019年度実績) Employment Data

学部別進路状況（学部第1部）

学部		就職者率	進学率	進路決定率	就職率
文学部	男	82.2	5.9	88.1	97.4
	女	83.5	5.0	88.4	97.9
	計	83.0	5.4	88.3	97.7
経済学部	男	87.3	2.6	89.9	97.4
	女	91.1	1.1	92.2	98.2
	計	88.4	2.1	90.6	97.6
経営学部	男	88.0	1.2	89.2	98.9
	女	89.8	2.6	92.4	98.2
	計	88.7	1.8	90.6	98.6
法学部	男	88.2	0.3	88.5	99.0
	女	93.0	1.1	94.1	98.9
	計	89.9	0.6	90.5	98.9
社会学部	男	86.9	1.4	88.3	96.8
	女	91.8	1.0	92.8	99.3
	計	90.0	1.2	91.1	98.4
国際地域学部	男	83.6	4.1	87.7	95.3
	女	93.4	1.4	94.8	99.6
	計	90.5	2.2	92.7	98.4

学部		就職者率	進学率	進路決定率	就職率
ライフデザイン学部	男	87.3	5.3	92.7	96.4
	女	91.4	1.8	93.2	99.7
	計	89.6	3.3	93.0	98.3
理工学部	男	81.1	14.2	95.3	98.4
	女	78.2	16.5	94.7	100.0
	計	80.6	14.6	95.2	98.7
総合情報学部	男	87.4	3.7	91.1	98.8
	女	84.3	2.4	86.7	94.6
	計	86.5	3.3	89.8	97.5
生命科学部	男	81.4	13.6	95.0	98.3
	女	73.2	19.5	92.7	95.2
	計	78.4	15.8	94.1	97.2
食環境科学部	男	86.1	10.1	96.2	98.6
	女	90.9	4.2	95.1	98.5
	計	89.2	6.3	95.5	98.5
合計	男	85.2	5.7	90.9	97.9
	女	88.6	3.6	92.2	98.6
	計	86.8	4.7	91.5	98.2

就 職 者 率＝就職者数÷卒業者数×100
進　学　率＝進学者数÷卒業者数×100
進路決定率＝(就職者数+進学者数)÷卒業者数×100
就　職　率＝就職者数÷就職希望者数(就職者数+卒業時点で就職活動中の者)×100
※学部名については卒業生在籍時の名称を適用

主な就職先

[第1部文学部]
東京都教育委員会
千葉県教育委員会
神奈川県教育委員会
埼玉県教育委員会
日本郵便(株)(日本郵政グループ)
東日本旅客鉄道(株)(ＪＲ東日本)
(株)ＪＡＬスカイ
川崎市教育委員会
ＳＭＢＣ日興証券(株)
ＡＮＡエアポートサービス(株)

[第1部経済学部]
(株)千葉銀行
東日本旅客鉄道(株)(ＪＲ東日本)
(株)りそな銀行
ソニー生命保険(株)
(株)群馬銀行
東京国税局
(株)千葉興業銀行
星野リゾートグループ
(株)マイナビ
(株)ＪＴＢ

[第1部経営学部]
(株)千葉銀行
(株)横浜銀行
(株)日立システムズ
東京国税局
積水ハウス(株)
(株)京葉銀行
日本電気(株)
楽天(株)
東日本旅客鉄道(株)(ＪＲ東日本)
有限責任(監)トーマツ

[第1部法学部]
警視庁
東日本旅客鉄道(株)(ＪＲ東日本)
埼玉県警察本部
東京国税局
日本年金機構
(株)千葉銀行
厚生労働省
(株)ＪＴＢ
(株)みずほフィナンシャルグループ
千葉市役所

[第1部社会学部]
(株)ベネッセスタイルケア
東京東信用金庫
東日本旅客鉄道(株)(ＪＲ東日本)
京浜急行電鉄(株)
東京消防庁
警視庁
日本航空(株)
山崎製パン(株)
千葉市役所
横浜市役所

[第1部国際地域学部]
(株)ＪＡＬスカイ
ＡＮＡ成田エアポートサービス(株)
(株)ＪＴＢ
日本航空(株)
(株)星野リゾート・マネジメント
(株)マイナビ
東日本旅客鉄道(株)(ＪＲ東日本)
(株)博報堂プロダクツ
全日本空輸(株)
(株)オリエンタルランド

[第1部ライフデザイン学部]
東京海上日動ベターライフサービス(株)
ＩＭＳグループ
埼玉県教育委員会
さいたま市役所(福祉・保育)
医療生協さいたま生活協同組合
大和ハウス工業(株)
フランスベッド(株)
アシックスジャパン(株)
日本赤十字社
(株)良品計画

[第1部理工学部]
(株)関電工
東海旅客鉄道(株)(ＪＲ東海)
東日本旅客鉄道(株)(ＪＲ東日本)
(株)ＮＳＤ
三井住友建設(株)
ヤマザキビスケット(株)
旭化成(株)
清水建設(株)
(株)ＮＴＴドコモ
国土交通省　関東地方整備局

[第1部総合情報学部]
ＴＤＣソフト(株)
(株)日立産業制御ソリューションズ
(株)マイナビ
東京ガス(株)
リコージャパン(株)
ヤフー(株)
ヱスビー食品(株)
日産自動車(株)
厚生労働省
三井ホーム(株)

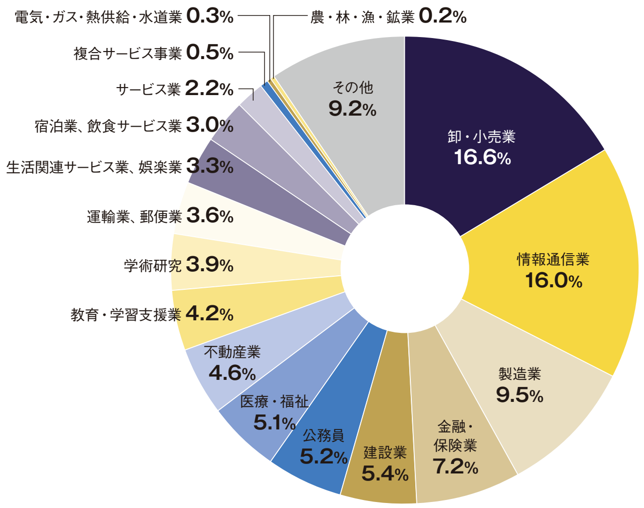
[第1部生命科学部]
さいたま市教育委員会
マルコメ(株)
日本食研ホールディングス(株)
山崎製パン(株)
茨城県教育委員会
水ｋｉｎｇ(株)
越後製菓(株)
一般(財)食品環境検査協会
(株)資生堂
長谷川香料(株)

[第1部食環境科学部]
日清医療食品(株)
(株)グリーンハウス
ＩＭＳグループ
エームサービス(株)
正田醤油(株)
(株)ＬＥＯＣ
公益(財)千葉県学校給食会
一般(財)新日本検定協会
東洋水産(株)
群馬県庁

[第1部全学部]
東日本旅客鉄道(株)(ＪＲ東日本)
千葉県教育委員会
東京都教育委員会
埼玉県教育委員会
警視庁
(株)千葉銀行
(株)ベネッセスタイルケア
(株)ＪＡＬスカイ
日本郵便(株)(日本郵政グループ)
(株)りそな銀行

[第2部全学部]
日本郵便(株)(日本郵政グループ)
住友林業(株)
イオンリテール(株)
(株)ニュー・オータニ
警視庁
関東信越国税局
東京都教育委員会
日本放送協会(ＮＨＫ)
東京都庁
文京区役所

業種別就職状況（学部第1部）



Ｕターンエリア別就職状況（学部第1部・第2部合計）

出身都道府県	Ｕターン就職者数	就職者数	出身都道府県	Ｕターン就職者数	就職者数	出身都道府県	Ｕターン就職者数	就職者数
北海道	11	64	石川	2	15	岡山	0	4
青森	3	29	福井	0	7	広島	2	19
岩手	2	31	山梨	9	35	山口	3	8
宮城	5	32	長野	35	137	徳島	2	6
秋田	3	27	岐阜	1	14	香川	1	7
山形	10	40	静岡	36	123	愛媛	2	10
福島	19	97	愛知	6	40	高知	0	5
茨城	65	331	三重	0	12	福岡	1	26
栃木	48	155	滋賀	0	3	佐賀	1	4
群馬	48	186	京都	0	7	長崎	0	5
埼玉	235	1,304	大阪	1	13	熊本	1	15
千葉	132	884	兵庫	2	27	大分	0	5
東京	1,051	1,358	奈良	0	2	宮崎	1	8
神奈川	69	384	和歌山	0	3	鹿児島	0	6
新潟	49	169	鳥取	0	6	沖縄	3	12
富山	6	27	島根	1	4	その他	0	4
						合計	1,866	5,710

■就職者数：出身地別の就職した卒業生数
■Ｕターン就職者数：就職者のうち、出身地に本社がある企業へ就職した卒業生数
※本社所在地と勤務地は異なる場合もあります。

教育職員免許状申請状況（2020年3月1日現在）

白山キャンパス

	学部	申請者数	小1種	中1種			高1種						特支1種	教科計
				国語	社会	英語	国語	書道	地歴	公民	商業	英語		
第1部	文学部	177	41	32	87	13	34	1	87	80	0	12	44	431
	経済学部	8	0	0	7	0	0	0	6	7	0	0	0	20
	経営学部	6	0	0	6	0	0	0	3	6	0	0	0	15
	法学部	6	0	0	5	0	0	0	4	6	0	0	0	15
	社会学部	13	0	0	10	0	0	0	11	10	0	0	0	31
	国際地域学部	2	0	0	2	0	0	0	1	2	0	0	0	5
	科目等履修生	5	0	0	0	5	0	0	0	0	0	5	0	10
	第1部合計	217	41	32	117	18	34	1	112	111	0	17	44	527
第2部	文学部	26	0	8	10	0	12	0	12	11	0	0	0	53
	経済学部	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
	経営学部	4	0	0	3	0	0	0	1	3	2	0	0	9
	法学部	5	0	0	2	0	0	0	5	5	0	0	0	12
	社会学部	1	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	3
	科目等履修生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	第2部合計	37	0	8	16	0	12	0	20	21	2	0	0	79
白山キャンパス 合計		254	41	40	133	18	46	1	132	132	2	17	44	606

朝霞キャンパス

学部	申請者数	幼1種	養1種	中1種		高1種					教科計
				保健	保健体育	保健	保健体育	工業	工芸	福祉	
ライフデザイン学部	131	80	21	2	28	3	29	3	1	0	167

板倉キャンパス

学部	申請者数	中1種	高1種	教科計
		理科	理科	
生命科学部	34	34	34	68
食環境科学部	5	5	5	10
板倉キャンパス 合計	39	39	39	78

川越キャンパス

学部	申請者数	中1種		高1種				教科計
		数学	理科	数学	理科	情報	工業	
理工学部	44	14	27	15	28	0	5	89
総合情報学部	1	0	0	0	0	1	0	1
川越キャンパス 合計	45	14	27	15	28	1	5	90

専修免許状

研究科	申請者数	小専修	中専修					高専修							特支専修	教科計
			国語	社会	英語	数学	理科	国語	地歴	公民	英語	数学	理科	工業		
文学研究科	2	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	3
経済学研究科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経営学研究科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法学研究科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
社会学研究科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
国際地域学研究科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
工学研究科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
理工学研究科	3	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	3	0	0	5
生命科学研究科	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2	0	0	4
専修免許状 合計	7	0	0	1	0	0	4	0	1	0	0	0	5	0	1	12

教育職員免許状
申請者数 合計
476名

国際交流データ International Exchange Data

留学生数・留学者数

派遣留学者数（中途帰国者を含む）

プログラム名	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
交換留学（派遣）	56	69	74	152	161
認定留学	5	10	11	25	18
協定校語学留学	45	52	103	180	179
語学セミナー*	163	123	116	156	180
合計	269	254	304	513	538

※国際教育センター主催のプログラムのみを対象

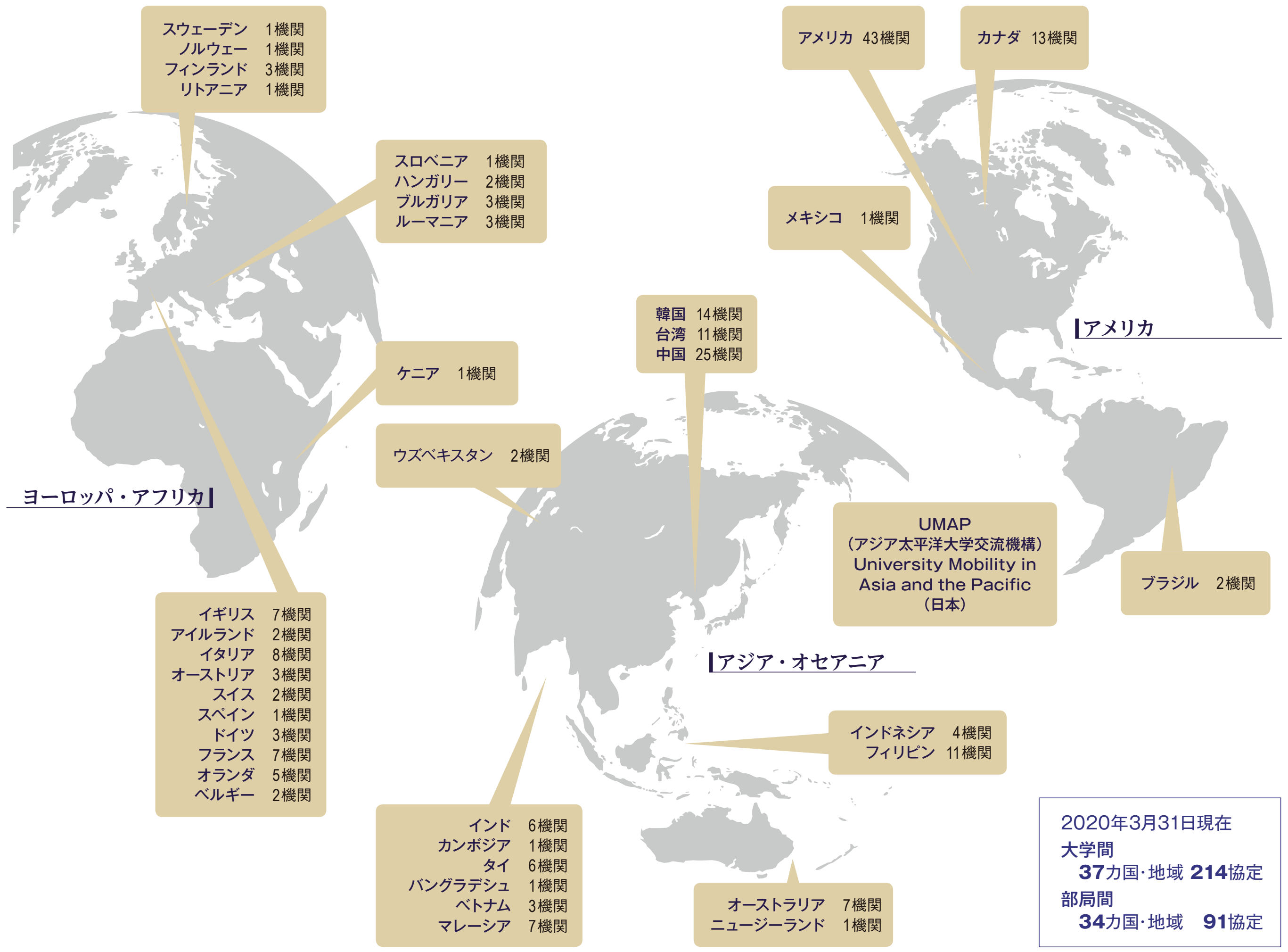
受入留学者数

プログラム名	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
交換留学（受入）	59	89	85	132	194

国費留学生受入数

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
大学院	20	22	25	22	24

大学間海外協定先等一覧（2020年3月31日現在）



出身国別留学者数（2019年5月1日現在）

掲載データは本書発行時期における最新の集計結果を掲載しております。発行後に更新される情報は本学Webサイトでご確認ください。

アメリカ 学部（第1部）合計3 総合計3	アルゼンチン 学部（第1部）合計1 総合計1	イタリア 学部(第1部)合計4 大学院合計1 総合計5	インド 学部(第1部)合計1 大学院合計3 総合計4	インドネシア 学部（第1部）合計26 総合計26	ウズベキスタン 学部(第1部)合計5 大学院合計1 総合計6	エジプト 大学院合計1 総合計1
オランダ 学部（第1部）合計1 総合計1	カナダ 大学院合計1 総合計1	韓国 学部(第1部)合計81 大学院合計 4 総合計85	カンボジア 学部(第1部)合計1 大学院合計4 総合計5	キルギス 学部（第1部）合計1 総合計1	サウジアラビア 学部（第1部）合計3 総合計3	シンガポール 学部（第1部）合計2 総合計2
スイス 学部（第1部）合計1 総合計1	スーダン 学部（第1部）合計1 総合計1	スリランカ 学部(第1部)合計4 大学院合計1 総合計5	セーシェル 大学院合計1 総合計1	セネガル 大学院合計2 総合計2	タイ 学部(第1部)合計12 大学院合計 3 総合計15	台湾 学部(第1部)合計19 大学院合計 1 総合計20
中国 学部(第1部)合計 944 大学院合計 173 総合計1117	チュニジア 大学院合計2 総合計2	トルコ 学部(第1部)合計2 大学院合計1 総合計 3	ナウル 大学院合計1 総合計1	ネパール 学部(第1部)合計6 大学院合計2 総合計8	パプアニューギニア 大学院合計1 総合計1	バングラデシュ 学部（第1部）合計2 総合計2
フィジー 大学院合計2 総合計2	フィリピン 学部(第1部)合計4 大学院合計1 総合計5	フィンランド 学部（第1部）合計1 総合計1	ブラジル 学部(第1部)合計1 大学院合計1 総合計2	フランス 学部（第1部）合計1 総合計1	ブルガリア 学部（第1部）合計3 総合計3	ベトナム 学部(第1部)合計 112 大学院合計 3 総合計115
マレーシア 学部（第1部）合計36 総合計36	南アフリカ 大学院合計2 総合計2	ミャンマー 学部（第1部）合計13 総合計13	メキシコ 学部（第1部）合計1 総合計1	モロッコ 学部(第1部)合計1 大学院合計1 総合計2	モンゴル 学部(第1部)合計10 大学院合計 2 総合計12	ロシア 学部（第1部）合計1 総合計1

学部（第1部）合計1,304名　大学院合計215名　総計1,519名

研究データ／図書館データ Research Data / Library Data

研究データ

科学研究費助成事業の保有件数および保有金額

	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
保有件数	187	216	211	207
保有金額（単位：千円）	320,281	329,024	336,744	318,498

科学研究費新規応募採択状況（第1回交付内定時）

2016 年度			2017 年度			2018 年度			2019 年度		
申請数	採択数	採択率	申請数	採択数	採択率	申請数	採択数	採択率	申請数	採択数	採択率
229	67	29.3%	219	58	26.5%	214	47	22.0%	247	67	27.1%

外部資金による研究件数

	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
科学研究費助成事業	165	187	216	211	207
私立大学戦略的研究基盤形成支援事業	9	6	5	3	1
共同研究・受託研究	51	59	74	77	78
奨学寄付金	29	46	38	40	39
合計	254	298	333	331	325

外部資金による研究費

（単位：千円）

	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
科学研究費助成事業	272,000	320,281	329,024	336,744	318,498
私立大学戦略的研究基盤形成支援事業	110,975	41,295	32,303	23,587	8,810
私立大学研究ブランディング事業			43,000	44,000	27,000
共同研究・受託研究	132,090	163,801	137,338	151,196	150,598
奨学寄付金	30,239	41,605	29,218	56,285	58,470
合計	545,304	566,982	570,883	611,812	563,376

学位授与状況（2019年4月～2020年3月授与分）

	9 月修了		3 月修了		博士（論文）	合計
	修士	博士（課程）	修士	博士（課程）		
文学研究科	1	0	22	4	1	28
社会学研究科	0	0	13	1	0	14
法学研究科		0	8	1	0	9
経営学研究科	3	0	27	1	0	31
理工学研究科	1	0	57	0	0	58
工学研究科		0		0	0	0
経済学研究科	3	0	25	0	0	28
国際学研究科	0	0	6	0	0	6
国際観光学研究科	0	0	6	0	0	6
国際地域学研究科	13	2	3	2	0	20
生命科学研究科	0	2	20	0	0	22
社会福祉学研究科	0	0	15	0	0	15
ライフデザイン学研究科	0	0	10	0	0	10
福祉社会デザイン研究科	1	1	2	2	0	6
学際・融合科学研究科	0	0	6	0	0	6
総合情報学研究科	1		12			13
食環境科学研究科	0		7			7
情報連携学研究科	0		2			2
合計	23	5	241	11	1	281

発明届出数

	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
発明届出数	15	12	20	23	22

特許出願件数

	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
単独出願	13	8	11	13	13
共同出願	3	3	5	7	3
合計	16	11	16	20	16

知的財産実施許諾等

	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
件数	2	3	9	7	8
金額（単位：千円）	132	472	1,918	1,780	1,924

図書館データ

図書所蔵数（2020年3月31日現在）

	和書	洋書	合計
白山図書館	757,030	251,666	1,008,696
川越図書館	146,931	60,147	207,078
朝霞図書館	253,215	23,754	276,969
板倉図書館	69,599	10,867	80,466

雑誌所蔵タイトル数（2020年3月31日現在）

	和雑誌	洋雑誌	合計
白山図書館	8,044	3,352	11,396
川越図書館	1,208	1,453	2,661
朝霞図書館	1,637	471	2,108
板倉図書館	330	185	515

入館者数（2019年度開館日）

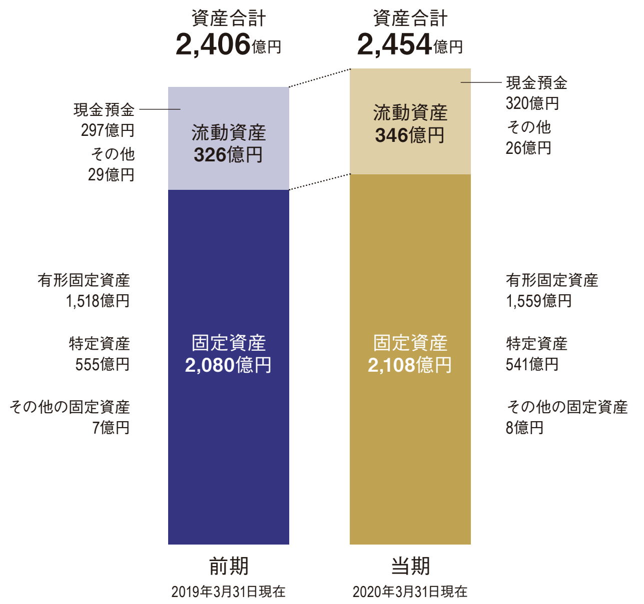
	開館日数	延べ入館者数
白山図書館	299	793,248
川越図書館	269	170,543
朝霞図書館	275	66,847
板倉図書館	270	104,783

経済・財政 Economy & Finance

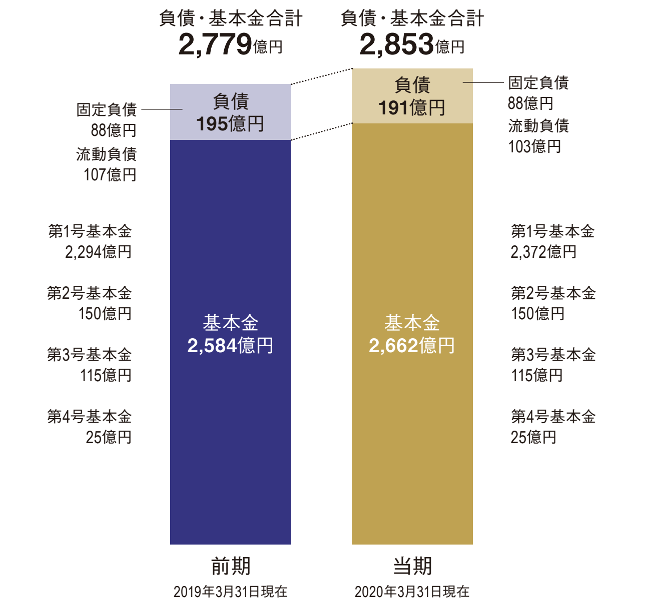
2019年度 決算

貸借対照表および事業活動収支計算書のレビューをWebでご覧いただけます。
https://www.toyo.ac.jp/toyo2020/economy/

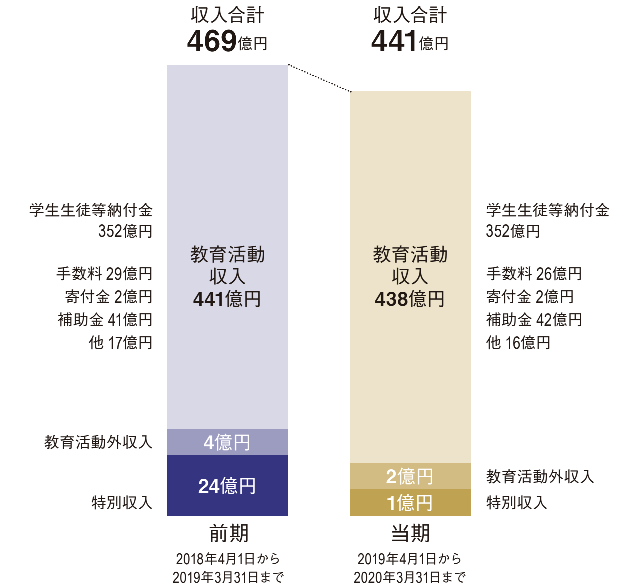
資産の状況



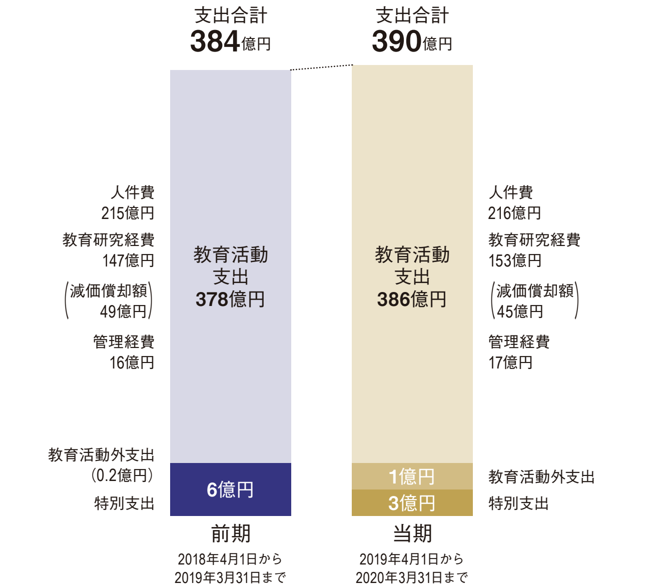
負債・基本金の状況



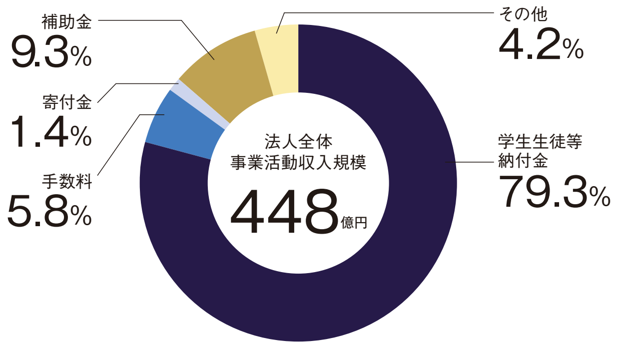
事業活動収入の状況

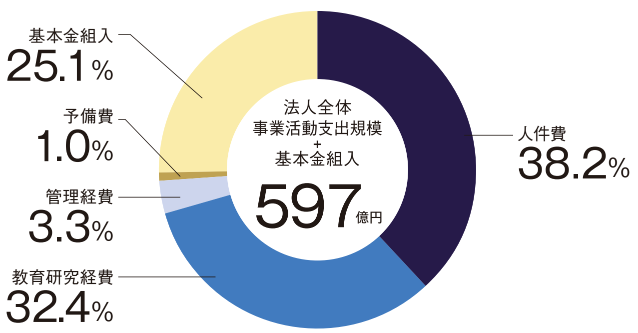


事業活動支出の状況



2020年度 予算規模





資金収支計算書

一事業年度における現金預金の収入および支出の一覧です。

□収入の部

(単位：百万円)

	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
学生生徒等納付金収入	32,274	33,311	34,641	35,173	35,168
手数料収入	2,286	2,610	2,836	2,920	2,596
寄付金収入	220	121	121	187	224
補助金収入	3,765	3,622	3,570	4,198	4,238
資産売却収入	406	0	0	32,649	0
付随事業・収益事業収入	505	661	674	787	831
受取利息・配当金収入	415	391	505	308	166
雑収入	735	796	674	966	792
借入金等収入	0	0	0	0	0
前受金収入	8,243	8,864	8,491	8,170	8,161
その他の収入	4,505	8,788	1,849	11,324	6,532
資金収入調整勘定	△ 8,978	△ 9,044	△ 9,485	△ 10,399	△ 9,761
前年度繰越支払資金	23,773	26,553	23,705	25,381	29,675
収入の部合計	68,149	76,673	67,580	111,664	78,622

□支出の部

(単位：百万円)

	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
人件費支出	19,496	20,053	20,755	21,554	21,475
教育研究経費支出	8,388	9,051	9,692	9,868	10,885
管理経費支出	1,533	1,682	1,590	1,528	1,809
借入金等利息支出	0	0	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0	0	0
施設関係支出	4,037	7,803	1,510	9,553	7,284
設備関係支出	899	2,282	1,124	1,152	1,525
資産運用支出	6,138	10,767	7,458	37,366	2,422
その他の支出	2,315	2,653	2,166	2,850	2,651
資金支出調整勘定	△ 1,210	△ 1,323	△ 2,096	△ 1,882	△ 1,435
翌年度繰越支払資金	26,553	23,705	25,381	29,675	32,006
支出の部合計	68,149	76,673	67,580	111,664	78,622

活動区分資金収支計算書

活動区分ごとの現金預金の収支の明細です。

(単位：百万円)

科目	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
教育活動による資金収支					
教育活動資金収入計	39,598	41,056	42,473	44,087	43,783
教育活動資金支出計	29,384	30,761	31,921	32,930	34,014
差引	10,214	10,295	10,552	11,157	9,769
調整勘定等	364	482	4	△ 1,578	215
教育活動資金収支差額	10,578	10,776	10,556	9,579	9,984
施設整備等活動による資金収支					
施設整備等活動資金収入計	3,081	6,200	33	9,443	3,585
施設整備等活動資金支出計	10,583	15,227	9,738	21,805	10,859
差引	△ 7,502	△ 9,028	△ 9,705	△ 12,362	△ 7,274
調整勘定等	△ 459	206	546	△ 239	△ 415
施設整備等活動資金収支差額	△ 7,962	△ 8,822	△ 9,159	△ 12,601	△ 7,689
小計(教育活動資金収支差額＋施設整備等活動資金収支差額)	2,617	1,954	1,397	△ 3,022	2,295
その他の活動による資金収支					
その他の活動資金収入計	1,429	2,237	1,562	34,333	1,287
その他の活動資金支出計	1,267	7,051	1,288	27,023	1,320
差引	161	△ 4,814	274	7,310	△ 33
調整勘定等	2	11	5	6	69
その他の活動資金収支差額	163	△ 4,802	279	7,316	36
支払資金の増減額(小計＋その他の活動資金収支差額)	2,780	△ 2,848	1,676	4,294	2,331
前年度繰越支払資金	23,773	26,553	23,705	25,381	29,675
翌年度繰越支払資金	26,553	23,705	25,381	29,675	32,006

事業活動収支計算書

経営状況や財政状態を正しく理解でき、「教育の永続性」に対する判断に役立ちます。

(単位：百万円)

	科目	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
教育活動収支	事業活動収入の部					
	学生生徒等納付金	32,274	33,311	34,641	35,173	35,167
	手数料	2,286	2,610	2,836	2,920	2,596
	寄付金	102	132	124	196	231
	経常費等補助金	3,705	3,605	3,547	4,152	4,182
	付随事業収入	505	661	674	787	831
	資産売却差額	0	0	0	0	0
	雑収入	744	765	665	876	803
	教育活動収入計	39,616	41,084	42,487	44,104	43,810
	事業活動支出の部					
	人件費	19,524	20,120	20,781	21,540	21,560
	教育研究経費	12,992	13,641	14,561	14,689	15,359
	管理経費	1,605	1,722	1,537	1,562	1,702
	徴収不能額等	0	0	0	0	0
	教育活動支出計	34,121	35,483	36,879	37,791	38,621
	教育活動収支差額	5,495	5,601	5,608	6,313	5,189
教育活動外収支	事業活動収入の部					
	受取利息・配当金	415	391	505	308	166
	その他の教育活動外収入	0	40	9	89	0
	教育活動外収入計	415	430	514	397	166
	事業活動支出の部					
	借入金等利息	0	0	0	0	0
	その他の教育活動外支出	31	24	116	16	90
	教育活動外支出計	31	24	116	16	90
	教育活動外収支差額	384	406	398	381	76
経常収支差額		5,878	6,007	6,006	6,694	5,265
特別収支	事業活動収入の部					
	資産売却差額	271	0	0	2,269	0
	その他の特別収入	230	106	68	90	106
	特別収入計	501	106	68	2,359	106
	事業活動支出の部					
	資産処分差額	430	271	207	594	205
	その他の特別支出	1	1	1	9	69
	特別支出計	432	272	208	603	274
	特別収支差額	69	△ 166	△ 140	1,756	△ 168
基本金組入前当年度収支差額		5,947	5,841	5,866	8,450	5,097
基本金組入額合計		△ 5,130	△ 5,924	△ 4,476	△ 11,468	△ 7,740
当年度収支差額		817	△ 83	1,390	△ 3,018	△ 2,644
前年度繰越収支差額		△ 36,647	△ 35,579	△ 35,662	△ 34,266	△ 37,284
基本金取崩額		250	0	6	0	0
翌年度繰越収支差額		△ 35,579	△ 35,662	△ 34,266	△ 37,284	△ 39,928

(参考)

	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
事業活動収入計	40,532	41,620	43,069	46,860	44,082
事業活動支出計	34,584	35,779	37,203	38,410	38,985

経済・財政 Economy & Finance

貸借対照表

「学校法人の体力（財務状況・安全性）」を把握することができます。

（単位：百万円）

	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
固定資産	191,474	196,050	200,752	208,037	210,768
流動資産	28,107	30,290	31,862	32,620	34,627
資産の部合計	219,580	226,340	232,614	240,657	245,395
固定負債	8,716	8,783	8,809	8,762	8,842
流動負債	9,887	10,739	11,120	10,760	10,322
負債の部合計	18,603	19,521	19,929	19,522	19,164
基本金	236,557	242,481	246,951	258,419	266,159
繰越収支差額	△ 35,579	△ 35,662	△ 34,266	△ 37,284	△ 39,928
純資産の部合計	200,978	206,818	212,685	221,135	226,231
負債および純資産の部合計	219,580	226,340	232,614	240,657	245,395

財務指標

経営成績や財政状態を数値化することで、学校法人としての「安全性」や「成長性」を読み取ることができます。

主な財務比率比較

（単位：%）

比率名	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
事業活動収支差額比率［基本金組入前当年度収支差額／事業活動収入］	14.7	14.0	13.6	18.0	11.6
基本金組入後収支比率［事業活動支出／（事業活動収入－基本金組入額）］	97.7	100.2	96.4	108.5	107.3
学生生徒等納付金比率［学生生徒等納付金／経常収入］	80.6	80.2	80.6	79.0	80.0
人件費比率［人件費／経常収入］	48.8	48.5	48.3	48.4	49.0
教育研究経費比率［教育研究経費／経常収入］	32.5	32.9	33.9	33.0	34.9
管理経費比率［管理経費／経常収入］	4.0	4.1	3.6	3.5	3.9
流動比率［流動資産／流動負債］	284.3	282.1	286.5	303.2	335.5
負債比率［総負債／純資産］	9.3	9.4	9.4	8.8	8.5
純資産構成比率［純資産／（総負債＋純資産）］	91.5	91.4	91.4	91.9	92.2
基本金比率［基本金／基本金要組入額］	99.9	99.9	99.7	99.8	99.9
教育活動資金収支差額比率［教育活動資金収支差額／教育活動資金収入計］	26.7	26.2	24.9	21.7	22.8

※「経常収入」＝教育活動収入計＋教育活動外収入計

寄付金状況

寄付金の種類	2019 年度	
	金額	摘要
特別寄附金	202,328 千円	2,456 件
奨学寄付金	58,470 千円	39 件
教育・研究協力資金	126,896 千円	2,125 件
教育・研究協力資金（施設）	7,978 千円	41 件
その他の特別寄付金	8,984 千円	251 件
古本募金	873 千円	241 件
その他	8,111 千円	10 件
一般寄付金	21,400 千円	3 件
現物寄付金	55,677 千円	956 件
合計	279,405 千円	3,415 件

補助金状況

（単位：千円）

補助金の種類	2019年度 補助金額
私立大学等経常費補助金	2,526,087
一般補助	2,132,427
特別補助	393,660
成長力強化に貢献する質の高い教育	300
大学等の国際交流の基盤整備	117,290
大学院等の機能の高度化	164,810
授業料減免及び学生の経済的支援体制の充実	101,260
私立大学等改革総合支援事業	10,000
国際化拠点整備事業費補助金（スーパーグローバル大学創成支援）	52,013
成長分野を支える情報技術人材の育成拠点の形成（enPiT）事業費補助金	35,858
私立学校施設整備費補助金・私立大学等研究設備整備費等補助金	56,443
国庫からのその他の補助金	1,712
地方公共団体等からの補助金	1,563,970
私立学校経常費補助金	1,417,488
授業料軽減補助金・入学金軽減補助金	89,103
その他の補助金	57,379
学術研究振興資金	2,300
合計	4,238,383

キャンパス・施設／附属学校等 Campus Facilities etc.

キャンパス・施設

白山キャンパス Hakusan Campus

文学部／経済学部／経営学部／法学部／社会学部／国際学部／国際観光学部／
文学研究科／社会学研究科／法学研究科／経営学研究科／経済学研究科／
国際学研究科／国際観光学研究科／社会福祉学研究科

〒112-8606　東京都文京区白山5-28-20　TEL. 03-3945-7224
5-28-20 Hakusan,Bunkyo-ku,Tokyo

赤羽台キャンパス Akabanedai Campus

情報連携学部／情報連携学研究科

〒115-0053　東京都北区赤羽台1-7-11　TEL. 03-5924-2600
1-7-11 Akabanedai,Kita-ku,Tokyo

朝霞キャンパス Asaka Campus

ライフデザイン学部／ライフデザイン学研究科

〒351-8510　埼玉県朝霞市岡48-1　TEL. 048-468-6311
48-1 Oka,Asaka-shi,Saitama

川越キャンパス Kawagoe Campus

理工学部／総合情報学部／
理工学研究科／学際・融合科学研究科／総合情報学研究科

〒350-8585　埼玉県川越市鯨井2100　TEL. 049-239-1300
2100 Kujirai,Kawagoe-shi,Saitama

板倉キャンパス Itakura Campus

生命科学部／食環境科学部／
生命科学研究科／食環境科学研究科

〒374-0193　群馬県邑楽郡板倉町泉野1-1-1　TEL. 0276-82-9111
1-1-1 Izumino, Itakura-machi,Oura-gun, Gunma

大手町サテライト Otemachi Satellite

経済学研究科（公民連携専攻）

〒100-0004　東京都千代田区大手町2-2-1 新大手町ビル1F　TEL. 03-3231-1021
1F New Otemachi Building,2-2-1 Otemachi, Chiyoda-ku, Tokyo

総合スポーツセンター General Sports Center

〒174-0053　東京都板橋区清水町92-1　TEL. 03-6454-3340
92-1 Shimizu-cho,Itabashi-ku,Tokyo

附属学校等

東洋大学附属 姫路中学校・高等学校

Toyo University Himeji Junior and Senior High School

〒671-2201 兵庫県姫路市書写1699
TEL. 079-266-2626
1699 Shosha,Himeji-shi,Hyogo

東洋大学附属 牛久中学校・高等学校

Toyo University Ushiku Junior and Senior High School

〒300-1211 茨城県牛久市柏田町1360-2
TEL. 029-872-0350
1360-2 Kashiwadacho,Ushiku-shi,Ibaraki

東洋大学 京北中学高等学校

Toyo University Keihoku Junior and Senior High School

〒112-8607 東京都文京区白山2-36-5
TEL. 03-3816-6211
2-36-5 Hakusan,Bunkyo-ku,Tokyo

京北幼稚園

Keihoku Kindergarten

〒113-0021 東京都文京区本駒込2-13-5
TEL. 03-3941-7090
2-13-5 Honkomagome,Bunkyo-ku,Tokyo